

育教の兒幼

號六第 號月六 卷九十二第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼市日

廣島高等師範學校教授
文部博士
久保良英
先生新著

兒童研究所紀要 卷十

大判洋裝全一冊
圖百二十頁
定價三圓五錢
送料金拾八錢

教育的に先進國たる歐米諸國に於ては、既に將來國家の構成に重要な位置を占むべき兒童を心理的、生理學的に研究して、純粹なる學理的立場から益々其効果を收めんと企て右施設に巨額の國費を擲つて惜まざる今日獨り我邦に、該機關の絶無なるを慨し、久保博士等同志の私財を投じて貴重なる研究の發表は、恒に現代の教育家の根柢的權威、最新智囊として學界に推獎せらるる

十卷內容目次

辨別力の検査成績
學科に對する態度と學業成績との關係
幼少兒童の精神發育綜合的研究
一般智能の恒常性に就て
兒童の人物畫に就ての觀察
本邦兒童に試みたる作業検査法
描畫による幼兒の智能測定
智能指數の分配
榮養不良兒に榮養補給を行ひたる結果成績
榮養指數に基く調査統計
一幼兒の生後二ヶ年間の行動
海外新著

文部博士 久保良英
文部博士 青木誠四郎
文部博士 和田富子
文部博士 久保良英
文部博士 三田谷啓子
文部博士 岩岡園子
文部博士 成富辰二
文部博士 岩田艷子
文部博士 久保良英
文部博士 廣島尾長小學校
文部博士 松田喜英
文部博士 久保良英

兒童研究所紀要

1234合輯 洋綴・背皮・紙數一千百餘頁 定價九圓五拾錢送料五拾四錢
567合輯 洋綴・背皮・紙數千貳百餘頁 定價拾圓五拾錢送料五拾四錢
8910合輯 洋綴・背皮・紙數千二百餘頁 定價拾圓五拾錢送料五拾四錢

智能査定用具

ボイル紙型箱入
一組參圓送料拾八錢

智能の査定が手軽に出来る。兒童研究所紀要の實際的研究唯一の用具。

團體的智能検査用紙

大判全二冊
定價各冊參錢

本用紙は久保先生の考案になる兒童智能検査用紙團體的用

發行所 東京市牛込區文館書店 電話 振替 東京三三三番 三八二番 四二五番 十二番 十一番 十番 九番 八番 七番 六番 五番 四番 三番 二番 一番

保育夏季講習豫告

一、期間 八月一日より四日迄四日間
 二、時間 午前之部、午後之部にち各四時間とす

三、講習科目

午前ノ部

- (一) 幼児の性狀の教育(四時間)
 東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三先生
 東京昭和保育園養育所顧問兼講師
 (二) 談話につきて(四時間)
 早稲田大學 東京昭和保育園養育所講師 久留島武彦先生
 (三) 製作實習(四時間)
 東京昭和保育園養育所講師 東京美術學校卒業 武井勝三先生
 (四) 自然物廢物利用の手遊品の研究(二時間)
 畫家 清水七太郎先生
 (五) 遊戲の撰み方、導き方、作り方(二時間)
 本所長 土川五郎

午後ノ部

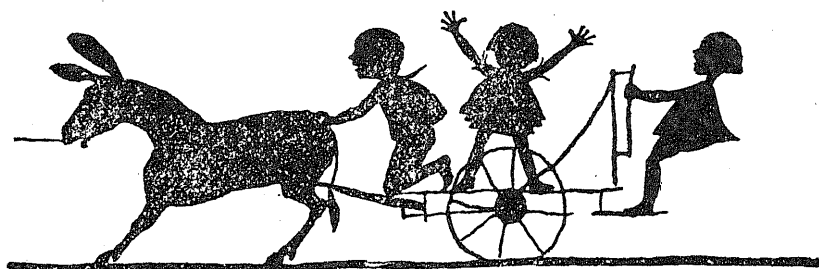
- 四、會場 未定(市内本郷小石川神田の内)
 律師及表情遊戲の實際(十六時間) 土川五郎
 五、講習料 午前之部 參圓 午後之部 參圓
 午前午後兼修五圓

(製作材料は各自負擔とす)

- 六、申込 午前又は午後又は兼修と指定し住所職氏名を明記し講習料を添へて七月二十八日迄に東京市外大井町五、二〇八東京昭和保育園養成所宛に申込まるべし。(据替東京六九二一四)
 納付したる講習料は如何なる理由あるも返付せず
 ◇寄宿 (本所寄宿舎又は指定旅館)に關する件其他、詳細は幼児發育七月號、フレイルタイムス六月號及教育週報に掲載す

主催 東京昭和保育園養成所
 主催 日本遊戲研究所

市外大井町五、二〇八
 土川五郎
 責任者 土川五郎



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長

東京女子高等師範學校長

吉岡 郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

堀 七 藏

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、幼児教育ニ關スル研究及ビ調査

一、幼児教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催

一、雜誌發行（毎月一回）

一、幼児教育ニ關スル圖書刊行

一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介

一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會務ヲ總理ス

主幹 一名 會長ヲ補助シテ會務ヲ掌理ス

幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ナリシテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



第 九 二 卷 幼 兒 教 育 第 六 號

—(次 目)—

口 繪 寫生、海軍記念日の日に	二
夏季講習會豫告	二
保姆と詩感の教養	三
私の視察した米國の幼稚園教育	四
倉橋教授の高見を讀みて	八
「宿泊保育實際」を讀みて	一七
講習の理想境	二〇
お話の調べはいつ始められるのか	二三
五月のある日	三五
満四歳兒の數觀念(承前)	三九
幼兒畫に現れた種々	四二
嗟峨便り	四三
セルリの栽培(四)	四七
童話二ツ	五〇
糸は針につく	五二
倉 橋 惣 三	四
堀 七 藏	八
竹 村 一	一七
大 塚 喜 一	二〇
三 浦 ひ ろ	二三
長 尾 豊	三五
及 川 ふ み	三九
東京女子高等師範學校	四二
附屬幼稚園	四三
東京女子高等師範學校	四七
家事科教生	五〇
老 姉 妹	五二
大 岩 金	五五
水 谷 年 惠	五八
戸 倉 ハ ル	六二

幼兒の手技研究會

一、幼兒及小學校低學年の手技教育の完成を目標としての研究

一、資料は本會獨自のもの及び全國各幼稚園から提出になつた結構なものをどし／＼紹介す

一、毎月一回研究製作會を開催し、一は幼稚園に毎月新しい手技の資料を供給し又一は保姆先生に手技手藝の趣味を養ひ器用を修練せしめんとす

一、遠方の方及び出席しがたい方の爲に通信研究部を設け、毎月會の資料を製作して見本として提供す。

一、會費送料共毎月六十二錢
五月から小包でなく第四種郵便になり何處へでも二錢で參ることになりました

一、通信研究部會員は右毎月會費を三ヶ月六ヶ月一年等にまとめて送附のこと（振替、小爲換）但し送金は各園の都合のときにてよろし、ハガキ御申込次第毎月會の資料送附す、中途御退會の場合にはハガキ御一報有之度

御大典紀念 折紙帖 頒布 賜 照宮殿下台覽

最上の紀念品で又是非必要な參考書であります、百幾十種の折方が始めての人にもよく解するやうに手引折方が貼込んであります、非常に重寶であります、立派な帖でございます。

御入用はハガキにて御申込のこと、急ぐわけには参りませんがいつでもお申込順に出来たそばからお送り申し上げます。

價格 特上製 全一冊 金七圓五十錢のと拾貳圓（獻上型大判）のと二種（包裝料小包料は別に申受く

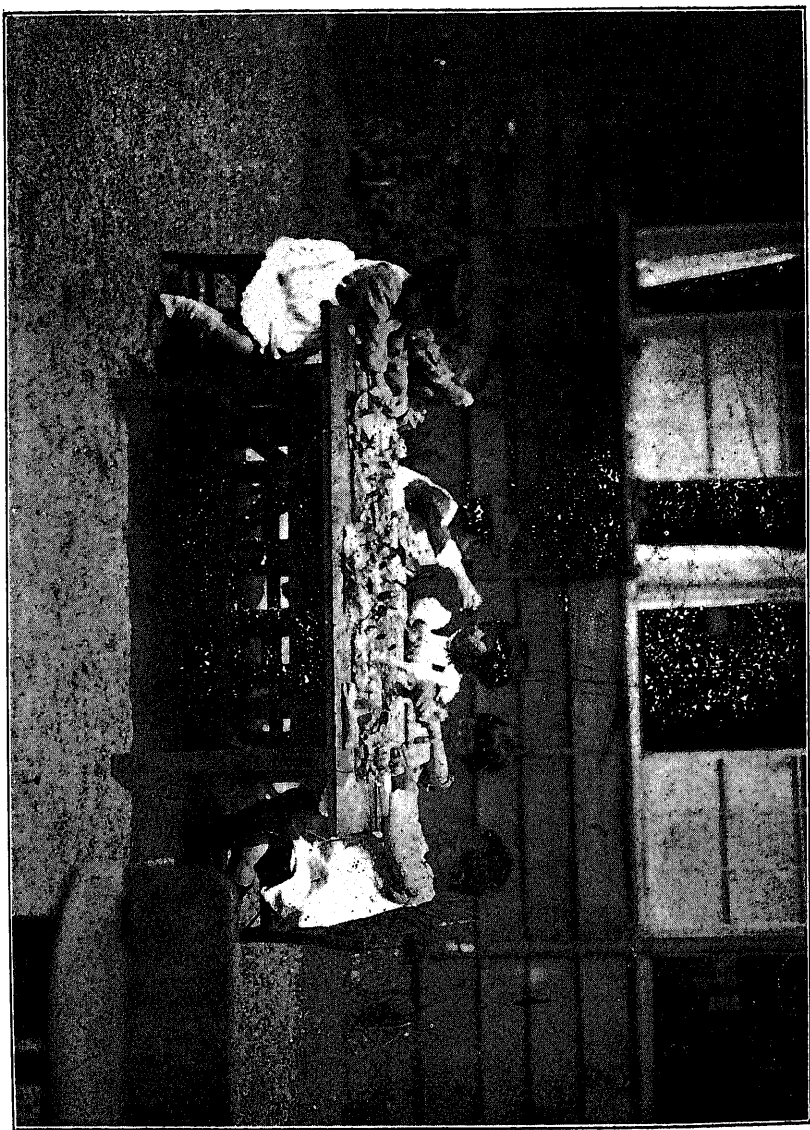
昭和四年六月

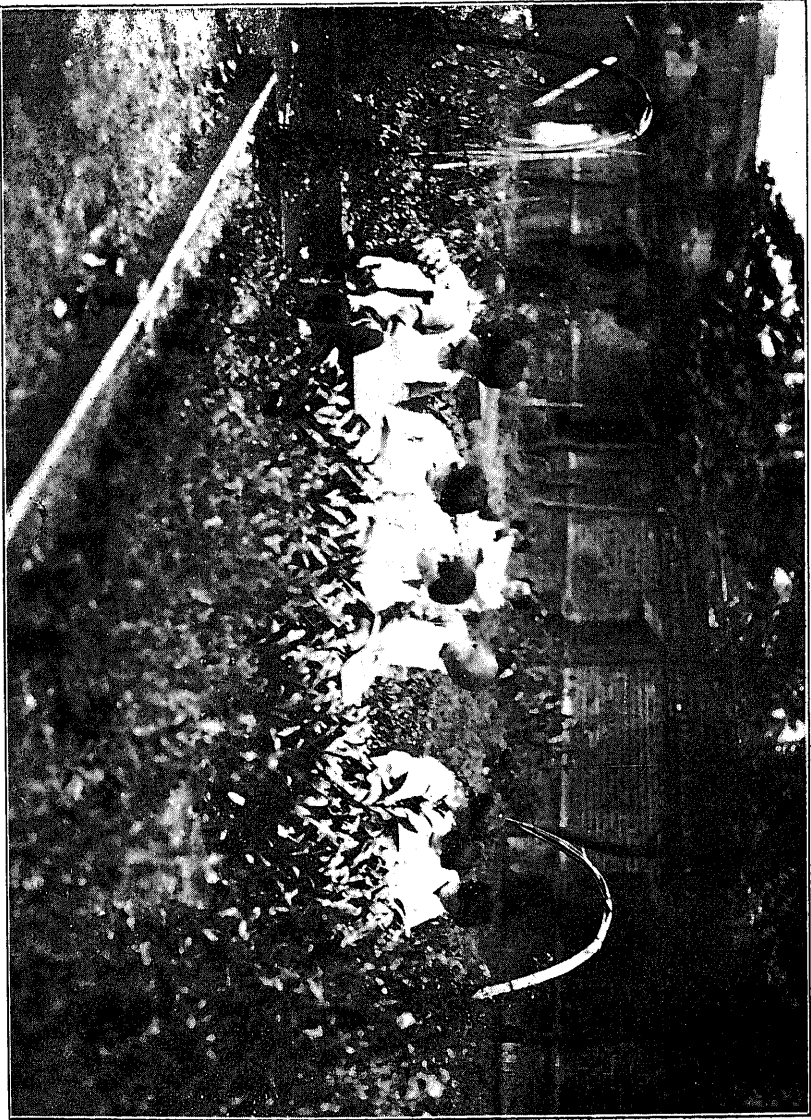
東京市牛込區納戸町六番地
東洋幼稚園牛込分園内

久門 嘉祐
幼兒の手技研究會

（どちらでも振替がよろしい）
東京六六五八〇番

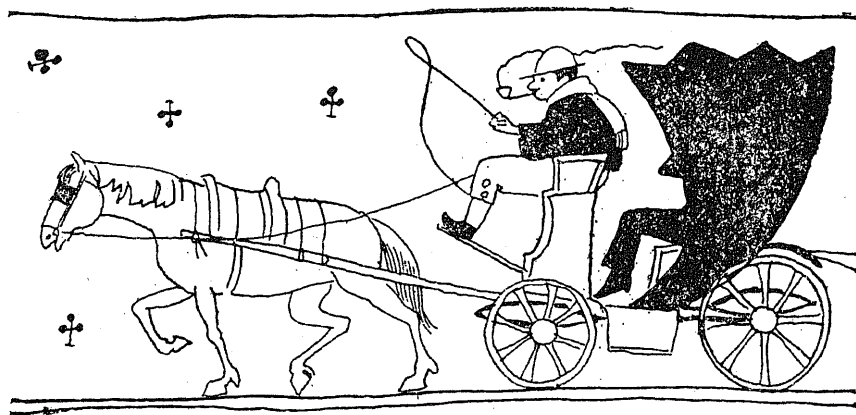
海軍記念の日





生

寫



號六第 育 教 の 兒 幼 卷九十二第

月 六 年 四 和 昭

一、教育で家庭教育位重要なものではありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼児の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼児の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼児の教育は幼児の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

夏季講習會豫告

日本幼稚園協會主催幼稚園遊戲講習會を東京女子高等師範學校講堂で開催いたします。

一、期 日

昭和四年七月二十六日より三十日までの五日間、毎日午後一時より同四時まで

二、講師及題目

前東京女子高等師範學校教授 高橋 さ や う 女 史

幼稚園に於ける遊戲の理論と實際

東京府立第六高等女學校教諭 戸 倉 ハ ル 女 史

幼稚園に於ける遊戲の實際

三、會 費

一人金參圓、幼稚園協會會員は一人金貳圓五拾錢

四、申込手順

講習會入會希望者は住所、職、氏名を詳記し、來る七月二十日までに東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會事務所宛にて御申込下さる。

會費は日本幼稚園協會、振替口座東京一七二六六番に御拂込下さる。

五、注 意

七月二十六日より同三十一日まで毎日文部省主催、幼稚園に關する講習會が東京女子高等師範學校に於て開催せられる筈ですが、それと本會主催の遊戲講習會とは全く關係がありません。文部省主催の講習會に出席希望者はその府縣に申込み許可を得ねばなりません。本會の講習會に出席希望者は直接東京女子高等師範學校附屬幼稚園協會に御申込下さい。兩者を取違ふぬやうに御注意下さい。

昭和四年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

保姆と詩感の教養

倉 橋 惣 三

「玉の杯底なきが如し」といふ言葉がある。保姆にして詩感なきは、まさにそれである。必ずしも保姆に限つたことでなく、すべての人に於てそうであるけれども、幼児教育者に於て、殊に、此の憾みの深からざるを得ぬ。詩感は自然に對する感觸の繊細さである。心のはだのこまやかさである。而して、それは幼児の心の貴重な特質の一つである。詩感の所有者に接するに詩感の缺くべからざるは言ふまでもない。

幼児の心の特質を粗野だと見る人がある。確にそう見られることが常である。しかし、その粗野は原始的粗野であつて、すさんだ粗野、痲痺した粗野では決してない。原始的粗野には、その裏に一種の繊細と、こまやかさをもつてゐるのが特色である。人間的にもそうであるが、殊に、自然に對して、それが最も顯著である。或は顯著でないかも知れぬが、最も眞實である。草の葉に、土の色に、空の光りに雲の動きに、ふと動く幼児の眞實なる詩感を否定することは出来ない。たゞ、その詩感の、餘りに眞實に、餘りに純な爲に、大人の場合のように浮動しない。漂泊しない。況んや低徊しない。ふと湧き、ふ

と戦いて、直ぐ其のまゝに消へてゆく、幼兒自身素より心づかない程の速かさに通り過ぎて仕舞ふ。その爲に、見へないものには見へないかも知れない。捉へられないものには捉へられないかも知れない。そこで、外面の粗野だけが言はれるのであるけれども、その淡きが中の微妙さは、見へるもの、捉へられるものには見のがせない。——此の詩感の所有者の友として、保姆に詩感を缺くべからざるは言ふまでもない。

○

「玉の杯底なきが如し」などは、第三者としての吾等の憾みである。幼兒自身、詩感なき保姆に、どういふ氣持ちを持たされることであらうか。そよ風にそよぐ若葉が、古木の幹、岩石の脊に居るような物足りなさを感じずにはゐられまい。漣立てゝゆく細流が、コンクリートの堤に沿ふてゐる時のような物足りなさを感じずにはゐられまい。別段何が不服といふでもないが、やつぱり不満を免れぬのである。我が小枝の、そよぎのまゝに並木もそよいで愆しい。漣のこまかいゆらぎのまゝを小草の岸にも受けて貰ひたい。といった不満を禁じ得ないのである。微かながら、心の底の不満である。

保姆は幼兒と同じ目で物を見、同じ耳で物を聞き、同じ心で物に觸れる人でなければならぬ。さればこそ幼兒は、その人と共に物を見、物を聞き、物に觸るゝことを楽しむのである。同じ喜びに喜び、同じ驚きに驚き、同じ感激に感激して貰へるからである。而して、その「同じ」といふは、たゞ同じ形、

同じ種類、同じ意味にかいふことのみではない。心の同じ振動に於てといふことでもあらねばならぬ。否、それこそ、一番大切な要件であらねばならぬ。敏に對する鈍。純に對する濁。わけても、生に對する濁。そういふ不一致であつてはならぬのである。

○

斯くいへばとて、保姆が皆詩人でなければならぬといふのではない。況んや、幼児の前に詩を語り、詩を誦せよといふのでは勿論ない。敢て詩感といふ。すなはち、心性の一素質としての詩感の所有者たるを求むるのである。しかも、われ等に、殊に、教育者に、またしても缺け易いのが、此の詩感そのものである。そこで、不斷に之れが教育を必要とする。涸れ、乾き、固化し易い吾れ等の心に、詩感のやしないを必要とするのである。そこでいゝ繪を見ること、いゝ音楽をきくこと、殊に、いゝ詩を読むこと、此の三つの中でも、いゝ詩を學ぶことを、保姆の教育の最も重要な一つとしなければならぬ。幾多の重要な多面の教育に併せて、詩の教養を怠つてはならぬのである。——保姆として一番大切な幼児と同じ心の感觸を養ひ育てるために。

殊に、此頃の傾向として、讀むもの聴くものが、多くは理に偏し、術に専らになり易い中にあつて、保姆の傍には、是非ともいゝ詩集がなければならぬ。その詩は、その人の趣味の好むところに任す。詩感の豊富なる眞の詩人のものならば、どれでもいい。そして、詩感を養つて呉れるものならば、どれで

もいゝ。短歌でもいゝ。長詩でもいゝ。我國の詩人のでもいゝ。外國の詩人のでもいゝ。吟誦反覆、以て、其人としての詩感を鈍らさぬように自己教養すべきである。

○

詩感だけが保姆の要件でないことは勿論である。故にこそは玉に譬へた。たゞ、如何に他の要件に完き保姆であつても、詩感なきは、その玉に底なきが如しといふのである。玉として貴ければ貴い程、底なきが益々惜しいといふ譯である。但し、何人も、われに詩感なしとてヒ感し給ひそ。詩感は元來誰れにでもあるのである。たゞ、斷えず養はないと涸れることがある。さればこそ、その自己の教養が必要だといふのである。

山は若葉人は身輕き比に哉 一茶

私の視察した米國の幼稚園教育（承前）

堀 七 藏

一、デトロイド

デトロイドの町はフォードの自動車會社があるので世間によく知られてゐます。ビエロン湖の水がイリ湖に注ぐところにある人口百三十萬以上もある大都會で、合衆國からカナダに渡る要路に當つてゐます。一八六〇年には人口僅かに四萬五千の小都市が一九〇〇年には二十八萬、一九一〇年には四十六萬、更に一九二〇年には百萬の大都會になつたもので、非常に急速な發展をした都會の一であります。この都會が著しい發展をなしたのはいろいろの原因がありませうが少くともフォードの自動車會社が出来たことが一理由でありませう。フォードの自動車會社は今日一分間に四臺の自動車、即ち一臺の自動車を原料から組立に至るまでを十五秒に製作する位大仕掛な工場であります。さて私がこのデトロイドでわざわざ下車したのは一はフォードの自動車工場を參觀したい爲でありましたが、今一はブラトンプランの學校を參觀する爲でもありました。それで二月二十一日デトロイド市のハイランドにあるフォード會社を參觀した歸路、デトロイド市廳に行きました。そして教育局長ステルン氏に面會してプラト

ウィブランによる學校參觀の紹介狀を貰ひ、更にこの市廳でデトロイド市の教育に關する印刷物を貰つたり購入したりしたのであります。

二、プラトウ・ン・プラン

このプランはデトロイド市で一九一八年から實驗的に施行し、今日では殆んど全市の小學校に適用してゐるものであります。天來デトロイド市の如き工業都市では年々學校兒童が著しく増加し、是等を收容する學校設備を十分ならしめることが非常に困難であります。凡ての兒童を收容して凡ての兒童に work, study, or play を十分行はせるが爲めには學校にゐる時間を延長せねばならぬ。成るべく長時間兒童を學校に收容して置くことは兒童の爲には勿論、家庭のためにも至極適切なことであります。大都會の兒童が愉快に遊ぶことが出来ないことは教育的に考へて誠に大缺陷といはねばなりません。出来るだけ長時間兒童を學校に置く工夫は大きな教育問題であります。しかし學校に永く置いても學習ばかりさせることが出来ません。また作業ばかりといふことは勿論出来ないものでありますからウォークとスタデイ、更にプレイをなして學校の生活を延長して學校の建物や運動場を成るべく長時間にわたつて使用することが至極肝要であります。我が國小學校のやうに第一學年兒童は一週十八時間、毎日僅かに三時間しか學校にゐないで、一日の大部分家庭生活をなすことは教育的に見て面白くありません。出来るならば一日の中五時間でも六時間でも學校にゐることは教育的施設をした所に兒童を收容して置くので

あるから大變によい譯であります。米國の如く家庭が兒童を日中遊ばせる所がない場合には一層必要でありませう。學校運動場だけを開放するのでなく、教室も廣場も悉く兒童に開放して兒童の學校生活を永くすることが適切でありませう。その代り學校建物を成るべく百％に利用するのでありますから校舎の設備は出来るだけ完備することを目的とするのであります。高價なる完全な設備をしてそれを使用せず單に遊ばせて置くことは誠に不經濟でありませう。設備を成るべく完備して成るべく多く利用せんとする目的で工夫せられたのがこのプラトウソ案であります。また學校教師も成るべく専門の優良なる教師を招聘して置くと共に成るべく能率高く勤務させることを理想となすのであります。只長時間勤務させて得意になる我國の幼稚園や小學校とは大に異つて長時間勤務させるといふことは單なる時間つぶしの意味ではありません。教育的効果を能率高くするが爲に専科の教師を採用し、それ等の教師がそれ／＼十分に勤務することを期するものであります。多く勤務させてよく待遇することは勿論でありま

す。待遇をよくするが爲めに多くの時間勤務させることも一面の目的となつてゐます。兎に角このプラトウソプランでは一年生も七八年の生徒も同様の時間だけ學校にゐるのでありますから教室も教師も十分に利用せられ勤務する譯になります。

それで普通の學校で午前八時四十五分より始業し、午後三時十五分に終業する所をこのプランでは午前八時半に始業して午後三時半に終業して學校にある時間を延長するのであります。それで全校兒童と

二分隊(二のプラトウイン)となし、一分隊がホームルームと稱し普通教室で學習し、他の一分隊はスペースシャルルームと稱し、文學室、理科室、音樂室、圖畫室、講堂、體操室、運動場、圖書室、手工室等で學習し作業しまた遊ぶのであります。この分隊が午前には一回、午後には一回、九十分を單位として大交替をなすのであります。それでありましてからAのプラトウインとBのプラトウインとは次の如く交替するのであります。勿論これは一例であります。

プラトウイン A、

八時三十分より

十時まで

ホームルーム

十時より十時三十分まで

十時三十分より十一時まで

十一時より十一時三十分まで

特別教室

" "

プラトウイン B、

八時三十分より九時まで

九時より九時三十分まで

九時三十分より十時まで

特別教室

" "

十時より

十一時三十分まで

ホームルーム

晝食休憩

十二時三十分より

二時まで

ホームルーム

十二時三十分より一時まで

一時より一時三十分まで

一時三十分より二時まで

特別教室

" "

二時より二時三十分まで
二時三十分より三時まで
三時より三時三十分まで

特別教室

" "

二時より

三時三十分まで

ホームルーム

こんな工合に教室の交替をするのでありますから一學校で教室を殆ど半減することが出来るのであります。普通教室が學級數だけあつてその外に特別教室の多く存することは學校經濟上面白くないから、ホームルームは學級數の半分となし、半分は特別教室となし、そして普通教室も特別教室も設備を完全にするのがこのプラトウン案の大精神となす所であります。一學級は四十人以下となし、次表に示す如く教室を節約して教育能率を高めるのであります。

學級數	十二學級	十六學級	十八學級	二十學級	二十四學級
收容生徒數	四八〇	六四〇	七二〇	八〇〇	九六〇
ホームルーム	六	八	九	一〇	一二
文學室	一	一	一・五	一・五	二
理科室	一	一	一・五	一・五	二
音樂室	〇・五	一	一	一	一
圖畫室	〇・五	一	一	一	一

教室	九	一二	一四	一五	一八
講堂	一	一	一	一	一
體操室	一	一	一	一	一
運動場	一	一	一	一	一
圖書室	〇	〇		一	一
手工室	〇	〇		二	二
合 計	一二	一五	一七	二一	二四

(家事裁縫室を含む)

右の表に示す如く特別教室の設備をよくして大に之を利用するのであります。そしてホィムルームとスペシャルルームとの交替は九十分で行はれるのであります。特別教室では三十分毎に小交替が行はれます。またホィムルームでも三十分置に讀方、書方、算術、綴方などが變化して學習せられるのであります。このプラトウンプランは今日では中々全米國に廣がつて實施せられ、デトロイドの實驗などでは教育の成績が普通の小學校に比べて優るとも決して劣ることがないといふのであります。

兎も角プラトウンプランの概要は以上の如きものでありますから我が國では直に模倣することも出来ないが、しかしこの學校經營の精神は大に參考となすべきものであり、また我が國の教育に於て充分適用する工夫が行はれてよいと思はれます。不完全な設備でも一教室獨占して満足するが如き態度は教育

上かどうか思はれます。

三、プラトウンプラン幼稚園

今私はプラトウンプランにつき説明したのでありますが之を幼稚園にどう適用するかの問題があります。しかしデトロイドでも幼稚園はこのプラトウンプランから除外してゐる位でありますから、幼稚園にこのプラトウンプランを勿論採用することは出来ません。しかし保育の組が四組あるから必ず四室の保育室がなくばならぬとは考へられません。四室の外に遊戯室も積木室などもあるに越したことはありませんが、使はれない時間があつて不経済であります。保育の組が四組必要なれば遊戯室もまぜて四室あればよいのであります。遊戯室を一保育室に代用して一向差支がありません。家庭でも一人が必ず一室を占領してゐる譯でなく、居間とも座敷とも食堂とも寢室ともなる日本室であります。兼用を常にしてゐますから幼稚園でも保育室と遊戯室とを兼用することは何でもありません。遊戯のあるときはその組の保育室に行けばよいのであります。また天氣のときは運動場で自由遊をなせばよいのであります。只幼児のものを適當に保管し區別する工夫さへ出来てゐれば保育室と遊戯室との兼用は左程無理はないのであります。現にアメリカの幼稚園ではどこでも一室しかないのが普通であります。一室が保育室となり遊戯室となり、また作業室となり、いろ／＼に使はれるのでありますが、その上に一室に二組も三組も保育せられるといふ有様であります。既に述べた如くコロンビア大學の幼稚園でも廣大な一室があ

るのみであります。またアメリカでは二室三室ある幼稚園が寧ろ少くて一室の幼稚園が多い有様であります。デトロイドの幼稚園は矢張り一室しかありません。その一室に六十人の幼児を收容して保育してゐます。勿論一室でありますが保母は必ず二人あります。一人の保母の受持つ幼児は三十人であります。これはデトロイドではどの小學校にも必ず六十人宛の幼稚園が附屬してゐるのであります。

私がデトロイドのバツテングル小學校を參觀したのが二月二十一日であります。この小學校にも六十人の幼稚園があります。ワシントンバースデーのために保育室はアメリカの國旗が澤山飾つてあります。また保育室内にすべり臺が一臺あり木工をなすことが出来る手工臺とも作業室とも稱すべきものがあります。特に幼児の製作した厚紙の細工物を貰つたのでありますが中々にうまく出来てゐます。それでデトロイドの一九二五年の統計によると五歳児が幼稚園にあるものが全五歳児の三五・八%。その三三・六%が公立幼稚園二・二%が私立幼稚園にあるものであります。また六歳児では公立幼稚園に六一・九%、私立幼稚園にあるもの一一・二%で合計七三・一%が幼稚園に入つてゐるもので幼稚園に行かないものは二六・九%であるとして申します。それが七歳児で公立小學校に在學するものは六八・六%、私立小學校に在學するもの二三・七%でありますから小學校に就學せぬものは七・七%あるのであります。尤もアメリカ合衆國全體では全兒童の一六・七%が小學校に入學せぬといふのでありますからデトロイドは大に教育が普及してゐる方です。また八歳児では公立小學校が六七・七%私立小學校が三〇・〇%で不

就學兒童が僅に二・三％であります。米國全體では一・五％の不就學者がありますがデトロイドでは著しく少いのであります。

デトロイド市では一九二二年から三三年にかけて幼稚園時代の幼兒一萬一千人に幼稚園教育を施すために五十萬弗日本金の百萬圓以上を費してゐるのであります。そして幼稚園教育を教育の重要な基礎のコースとなし大に研究してゐるのであります。教育費を多くかけて幼稚時代の幼兒教育に力を注ぐことは全教育能率を向上させる上に偉大なる功績があることを統計の上から大に調査し今や公立小學校同様に大なる力を注いでゐるのであります。

レコード豫約募集

我が國幼稚園に於て最初に採用せられたる唱歌をレコードにいたしました。吹込者は我が國第一回の保姆たる氏原鑲子、膳眞規子兩先生であります。日本蓄音器商會製作のレコードであります。兩面一枚金貳圓の豫定であります。購入希望の方は豫め東京女子高等師範學校附屬幼稚園内本會事務所に御申込下さい。

昭和四年六月

日本幼稚園協會

倉橋教授の高見を讀みて

大阪醫科大學衛生學教室

竹

村

一

「幼兒の教育」四月號誌上に於て倉橋先生の園醫に關する御高見を拜讀し大に感激した。いさゝか愚見を述べて先生に御答したいと思ふ。幸に御訂正を賜ひ御教導を仰ぎ得ば幸甚と思ふ。

ここに於て將來此缺陷を補ふべき方案として私の希望する所は此際特に幼稚園に適當なる園醫の選定と保姆の園醫をして充分教育上の相談相手とする事とである。

幼兒の教育上衛生的方面を閉却されてあつたといふ事は先生の御論旨の通り誠に「幼兒教育の本質上重大なる缺陷」であつた。

從來の吾國の保育なるものには日本舊來の傳統的觀念上の缺陷からであつたか幼兒の積極消極兩方面の衛生なるものが顧みられなかつた傾があつた。

第一は適當なる園醫の選定である。

從來の幼稚園當事者(學務當局、園長、保姆)は園醫なるものは年一回の定期身體検査を施行し、且園内に於ける幼兒の應急手當を行ふ事が主なる責務と考へられてゐた様に思はれる。其故に園醫は幼稚園の近所ですぐ立つて行ける開業醫の方でないといかぬといふ事は私の屢々耳にする所であ

る。

勿論身體検査をするのも應急手當をするのも園醫のなすべき當然の事ではあらう。然し乍ら此身體検査なり又應急手當なるもの位は別に幼稚園衛生を擔當すべき光榮ある園醫（豫防醫學者）に非ずとも市井の臨床開業醫家の何人にも出來うる事である。殊に應急手當の如きは幼稚園衛生婦又は保姆にてもなし能ふ所のものにして直に附近の開業醫にかつぎ込む迄のそれまでの手當である。

元來幼稚園衛生なるものは學校衛生と相關連したる一つの豫防醫學的立場に置かれたる身體的教育である。殊に幼稚園教育は其全半面は身體的教育でなければならぬ事は倉橋先生の御説の通りである。

ここに於て私は園長又は主席保姆の園醫選定に際して少くともこういふ判然たる立脚點を以て望まれないと思ふ。勿論次の様な諸點に付ての願慮

も相當必要である。

一、兒童愛護の惜心（倉橋先生の大阪に於ける講演筆記参照）をもてる者

一、幼稚園教育に理解ある者（幼兒心理、幼兒教育についての一般を知れる者）

一、學校衛生學について特別の知識を有する者

第二の問題は選定せられたる園醫の活用である。

採光採暖換氣清潔溫濕度の影響、机腰掛等の設備上に對する改善は勿論園醫をして充分に研究提案せしめるべきは當然の事であるが、更に進んで保姆は自己の Program making 上に關しても其の身體的方面の相談相手として活用すべきであると思ふ。

Patty Smith Hill は彼の著 A conduct Curriculum for the Kindergarten and first grade に於いて

のもとに五項目を擧げて居るが其内一及三は幼児の身體的方面に關しての考慮である。

將して保姆諸君は園醫をこうした考へて遇さるゝであらうか。只單なる市井の一開業醫同様に解せらるゝであらうか。私は幼稚園を參觀する時幼児教育の身體的方面の餘りにも閑却されてゐるのに驚く時がある。幼稚園は神經質な子供の養成所でもなければ殊更に群集生活による健康障礙を招致すべき場所でもない。倉橋先生の所謂國民保健の大事業の着手せらるべき時期であり且場所である。

幼稚園醫令の發布は昭和聖代の一大慶事である。吾等幼稚園當事者は（園長も保姆も更に園醫も）今一度思ひなほして此大任に向つて進みたいものであると思ふ。

口　繪

觀て描く。

描くことによつて觀る。

作りつゝ話しつゝ。

話しつゝ作りつゝ。

「宿泊保育實際」を讀みて

大塚 喜 一

編輯係りの方から何かの感想を書く様にと望まれましたので、本誌近頃の記事のうち殊に共鳴し啓發さるる事の多かつた事に就て遠慮無く卑見を述べて更に廣く諸賢の御感想御批評を伺ひたいと思ふ。

本誌本年五月號に記された岡山女師附屬幼稚園の「宿泊保育實際」を讀んで先づ第一に思はるゝのは、普通の幼稚園で平生定められてゐる保育をしながら尙其上に時間及内容に於て新しき數歩を踏み出されたる當事の方々の意氣と熱誠とに敬意を表し感激せざるを得ないのである。これについて思ひ合さるゝのは、キリストの「人もし汝に一

里行く事を強ひなば、共に二里行け」の御言葉であります。私はこれを三浦修吾氏著「生命の教育」で讀んだのであります。此本は教育者の人生を指導する上によい本と思ひますが、今此處に必要な點だけを抜萃して記して見ますと

基督の出た猶太といふ國は、もと、神の信仰に榮えた美しい國であつたが、基督の頃には大變衰へて、其頃強盛なりし羅馬帝國の屬國になつてゐた。其頃のならばしに、羅馬の兵士が公用で荷物を持つて途を行く時には、猶太人に命じて持つて行かせた。猶太の民はいや／＼ながら之を拒むことは出来なかつた。しかし、一里

だけ持つてゆけばよいので、そのあとは放免されて他の猶太人に代るのである。

基督は集れる猶太の民、束縛から免れ救を求むる人々に向つて次の如くに云はれた。

「羅馬の兵士がお身達に荷を負はせて一里の途を強ひた時には、これに共に二里行け！」

決められただけの一里を行くから苦しいのだ。我が心から更に二里の途を行つてやる時には、そこに自由が生じ喜が生れて、第一の苦惱が消されてしまふ。』

光榮と感激に満ちたる幼児の生活の保育者に對し、斯の如き例をひくは却て失禮とも思はるゝであらうが、しかし幼児と生活を共にすることは他人の目から見た程愉快一方のものではなからう。

當事者も「液中に泣き出したら家迄連れる位の覺悟はしてゐた」と云はれた如く、幼児の生活萬般の細かい世話をする事につけても自ら進んで苦を

迎ふる程の意志を以て従事せねばならぬ。『第二里を行く努力』を以てすれば如何なる境遇をも之を自己實現の道場と化する事が出来る。まして我々教育者の生活が此の努力に依て平素以上に如何に新しき生命を創造し得るであらうか。今晚は先生やお友達といつしよにおねえをするのだといふ楽しい豫期を以てつどひ來る幼児等を迎へらるゝ先生方が「何だか平素より以上の慕しさと愛とを感じました」と云はれたのは、正しく此新生活の第一歩に輝く神の祝福である。吾人は「第二里を行く家庭」についての三浦氏の次の言葉をひいて宿泊保育の將來を祝福する者である。

「お母さんは、ありふれた主婦のやうに目に見えた事だけを、矢笠しく几帳面に執り行うてゆくのではない。お母さんは、子達の爲、お父さんの爲、隠れた心の奥で、いつも祈つてゐる。輝いた、溫い心で祈つてゐる。その、お母さん

の隠れた心の働きは、家の人々の上に不知々々の影響をきつと及ぼすものである。家の人々は目に見えたところ、耳に聞えるところでは見えず、聞えもせぬところで、より多く、お母さんの恩澤を蒙つてゐる。

お母さんのこの心は、お母さんの爲す事よりも偉大なので、お母さんの爲すすべての事の上に、お母さんのこの心は、金粉のやうに撒き散らされるのである。

子供が大きくなつてお母さんに別れた時、お母さんについて思ひ出すことは、お母さんが爲して來た一々の仕事ではない。あの倦む事無くすべての境界を越えて、溢るゝ心で、自分を愛してくれた事である。子供の心に、お母さんの残す深い印象は、外にあらはれた仕事ではなくして、お母さんの内に溢れてゐた愛なのである。』
今、一步を追きて第二義的に考ふるを許さるゝならば、教育者と雖もやはり人間である。一日

中の數時間を幼兒達と共に生活して其へ人々の個性を輔導し、而も際立つた被教育意識を起さしめないやう、自然に具體的に、細かい注意を以て努力と苦心とをして來たのであるから、我家へ歸つた後は足を伸してくつろいで見たいのも人情である。自己の本職以外に別に慰勞や娛樂を求めつつあるは、普通の勞働者（體力心力との何れを以つてするも）に多く見る所である。然るに斯かる二元的相對的の世界より遙に超脱して、四六時中常に幼兒と共に生活し得る先生は、保育といふ尊い天職そのものゝ中から慰勞と悅樂とを産み出してゐられるので、これこそ眞に幸福なる生活であると思ふのである。斯かる先生に依てこそ宿泊保育の效果は更に深く且廣く及ぼさるゝのであらう。而して、未だ斯かる絶對の境地に到り難き教育者も、自ら進んで「第二里を行く努力」を爲す事に依り、かゝる第一義の境地に參じ得る事かとも思はるゝのである。（昭和四、五、三〇）

講習の理想境

三 浦 ひ ろ

夏が來ると

花が散つて緑深い夏が來るとそろ／＼講習がはじまります。短いのは土曜、日曜を利用して、少し長いのは農繁期の休業を利用して授業に熱心なそして又研究心の強い有爲な先生方の爲に、其の研究の刺激や好機を與へたいといふ好意から各種の講習會が開かれるのであります。やがて夏休み時になるとづつと其の數が増しかつ範圍も廣くなつて參ります。殆ど各府縣到る處で重大な年中行事の一つとしてゐるやうであります。従つて之によつて我々教育界に席を置くものゝ裨益せられる

點も甚だ多いのであります。

講習とは何……補習教育者か

それならばこの講習とは一體何であるかと申しますと私はこれを極簡單に短期間に於ける補習教育であると考え居ります。そしてこの教育であるといふ點に於いて講習を神聖な仕事であると考えたいのであります。たとへ期間は二日であつても又は三日であつても教育といふ仕事に變りはありません。

ですから講習は世の教育といふ仕事の含む要素をすべて包含した仕事であるとして差支へないと

思ひます。そこで今これに次の三つの方面に於いての重大任務を負はせて見たいと思ひます。

- 1、新知識技能の補充開發
- 2、停滯せる氣分の振起
- 3、人格の接觸

○

補充教育であるとする以上その主要な任務の一つは新しい知識又は新しい技術の補充或は開發でなければならぬのであります。社會の進歩は一日一時の停滯も許さないもので常にその進行を續けて居ります。そして若しもうつかりして居ると何時の間にか其の歩みの外に置き去られてしまふ様な事があります。そして知らず識らずの中に退歩しはじめます。ですから時々これに清涼劑を與へて十分の緊弱味を以つて進んで行かなければならないのであります。よく不斷の努力でといふ事を申しますがこれには何かの刺激がないと實行が

なか／＼困難なものであります。この刺激の一つが新知識を與へられる事であります。この新しい知識といふものは世の中の歩みの最も生氣ある部分にかもし出される産物でありますから、それに接する事によつて社會の進歩のどの點に自らが位置するかといふやうな事を自覺する事が出來て其の生活の上に新しいそして強い刺激を受け深い反省を加へてゆく事が出来るのであります。勿論講習で受ける新知識が我々の生活の向上をたすけ退歩を防ぐものゝすべてだとは申しませんが、これに端緒を得て生活を進めてゆく事の稀でないのは事實であります。ひとり之は知識に於いてのみならず技術に於いても同様の事がいはれるのであります。自己より遙かに優れた技術に接した場合前と同様に自分の生活に對する希望と要求とを高めてゆく事が出来るのであります。

○

また我々が日々の生活に於いて無刺激平坦な時を過して居りますと其の知識技術に於いて退歩する許りでなく心狀に於いても活潑な活動を阻まれる爲沈滞した氣分を醸し出して澱んだ水のやうに潑刺たる力を失ふものであります。そしてこの流れの中止した心の狀態が更に其の知的方面に又は道德的方面にも影響をして參りますから知らず識らずの中に心身ともに動かぬ人になつてしまふ事になります。之等はやはり相當の刺激によつて救ひ得るものであらうと考へます。各方面の人々の集合により自己以外の多數に接し、又社會を流れてゐる生氣ある學德に又は技能によつて形成せられた講習の雰圍氣にひたる事によつてかうした心的狀態は振興されるのであります。我々が其の學生活を送り又は研究生活をつゞけて參ります中はこの生活の沈滞といふ事は避けられるのであります。一人刺激の少い地方に住み又は全く少數の

人々の間に交つて穩かな生活を營む時には自らの力を正しい測定に置き得ない場合が生じて參ります。そして停滯から退歩へと逆行するのであります。講習はたしかにかうした事件に對しての一抹の刺激劑又は興奮劑となるものであります。

○

人格の接觸といふ事は何れの教育に於いても重大な責務を分掌するものと考へられて居ります。これを全然抜きに致しましては教育の仕事は成立しないと極言してもいゝかと思ひます。實に偉大な人物との接觸はたとへ夫れが一時であつたとしても吾々の心底深く感動を與へて絶大な影響を残すものであります。我々は皆異つた個性を有して居ります、そして其の一言一句、一舉一動すべて其の個性が表れるのでありまして、どんなに抑制するつもりでゐても抑制し切れないものであります。ことに我々が専心熱意を以つて事に當つた場

合には特に自分をよく表します。故にこの人格の接觸といふ事は善惡にかゝはらず行はれるものでありまして教育上には重大視せらるべき一要素であります。

講習の効果

細大もらず記す事にすれば随分多くの効果を擧げる事が出来やうと思ひますが、こゝには極かいつまんで考へてみたいと思ひます。まづ前述の講習の任務から考へてみますとその効果の一に擧げるべきものは

知識慾の勃起

であります。人は其の幼兒時代に既に萌した所の知識慾は多少強弱の差があり、また變化が生ずる事はあつても一生を通じて死に至る迄存続するものでありますから、何歳になつても知り度いといふ望みの失せる事は常體に於いてはない筈であり

ます。かうした願ひが人々の間から失はれない限り世の進歩は中止する事なく次第に向上發展に向つてゆくのであります。しかしこの知識慾にも單に好奇的なものもあり研究的なものもあります。そしてその何れが人間の福祉を増進するものであるかはたれでもわかつてゐる事で説明する迄ありません。この深重な研究的要求をもつた知識慾はやはり相當の刺激がないと減少して參ります。よく學校卒業後時を経たので知識慾が減じたなどいふのを聞きますが、それには他に種々の原因もあらうかと思ひますが大きい原因の一つは刺激の少い生活に入つた爲であります。講習はたしかにさういふ境遇に入つた人々に知識技能の新方面を紹介して強い刺激を與へ勃々たる知識慾を喚起するものであります。これは眞面目に講習をうけたものの等しく體驗してゐるところのもので、或講習によつて非常に感奮させられて其の研學の方面

に光を認めた人もありませう。奮起して研究の生活に入つた人もありませうし教授の方法に一轉換機を與へられたものもありませう。又それほど顯著な効果がなかつたのにしても、ぐづ／＼しては居られぬ、とか勉強しやうといかいふ心を起した人は随分あると思ひます。其の二として與げるべき効果は

知識技能に對する要求の向上

であります。即ち從來は或程度迄の要求しかなかつたものも知識慾の旺盛になつた結果として非常に目標が向上されて參ります。そして技術的方面には更に觀察批評の力が向上して參りますから自分の環境が擴大されたやうな喜びを感じます。眼界が急に豊かになつて參ります。第三は

心氣の轉換

であります。廣く人々に接し、新しい知識を與へられる事によつて生活の目標が向上しますから今

迄停滯してゐる氣分が流路を見出して快よく活動を開始いたします。第四には

自己反省の好機を與へられる

事であります。これはすべて自己以上の力に接した場合に必ず伴ふ筈の作用でありまして純な心狀にあるもの程この作用は正確にはたりますますが特に眞の教育はこの作用に預つて力あるものであります。そして我々はこの眞摯な自己反省の力によつて生活の根底を樹立し且つ向上せしめてゆくのであります。

更に副次的產物として教授材料の蒐集といふ事が出來ます。窮迫した教授法に時に活路を見出し又缺乏を告げた教授材料に幾つかの新材料を與へる事があります。しかし一言して置きますがこれは副次的に起つて來るもので講習の眼目がこれであつてはならないのであります。

講習の理想

さきに述べました様に講習は新しい知識技能を

補充教授し、停滯せる氣分に活路を與へ人格の接觸によつて各自を磨く所のものであります。これを除いては講習の眞價はないのであります。我々が所定の講習を終へ、靜かに其の收獲を考へた時

そこに新學說の一二の斷片があり、又は巧妙な技術の二三の部分が残つてゐるとしても夫れは何の

誇りにもならないのであります。眞の講習の收獲は其の與へられた材料によつて自分がこれだけの反省を促され又、これだけ向上の進路に向ひ得たといふ體驗がなければならぬもので、さういふ體驗がなかつたとすれば形骸だけを擱んで眞にふれなかつたものと言はざるを得ません。思ひを内に向けて自己を省みる材料となり自分の魂に觸れた時講習は眞に生きて我々のものとなるのであります。

す。

かういふ意味に於いて私は講習の理想境について空想して見度いと思ひます。

まづ其の前に『講習の理想境は講師と講習生の協力によつてのみ樹立し得るものである』といふ假定をいたしませう。これは假定として置きますが實は私の信念であります。

ですから説明の順序として講師側と講習生側とに分けて考へませう。

講師として先づ考へなければならぬのは教育といふ仕事の一部を遂行してゐるのであるといふ意識を明瞭にして置かなければならない事であります。自分は學者であつて教育家ではないと思ふ講師もあるかも知れませんが相手は相當に素要のあるものなのです。ですから單なる學說であつたとしても相手はこれを自己教育の一部に織り込んで參りますので立派に教育としての作用を行ふ事になる

のであります。故に講義と實演とを問はず一意専心熱意を以つて當らなければなりません。しかし一日といへども或は半日といへども講師の人格は必ず對者に反映するものでありますから眞に衷心からの叫びを以つて接して行かなければならないのです。言は衷心より行は誠意より出たものであつたとしたら如何に講義の術に於いて拙であつても教授法が下手でも必ずや人の肺腑を衝くものがありませう。従つて講習生も又誠意を以つて之を受ける筈であります。決して決して賣名的の目的や金儲けの爲に講師になつてはならないと考へます。講習生や賣名や金儲けの手段にするのは餘りに勿體ない事であります。

次には一時的のものであるといふ考を起してはならない事であります。僅か三日や四日のものでありましていやくも自己の心身を吐露しての一時であるならば又永遠の一部である筈でありま

す。少くとも其の場限りのものでなく自分の一生責任をもつ覺悟がなければならぬでせう。何三時間だからとか一日だからなどいふやうな浮薄な考へは持つてない筈です、自分の一部だと考へた時強い責任と嚴肅な感が湧いて參ります。

十分な確信と準備を持たなければならぬものかういふ意味からいつて忘れてはならぬ事でありませう。

最後に考へなければならぬのは徹底した講習でなければならぬといふ事です。相手に誠意を持ち自分に責任を感じ周到な準備と確信を持つてした場合に不徹底に終る筈のないものではありませんが最後として再びよく徹底してゐなければならぬといふ事を確めて置きたいと思ひます。

更に講習生側からいつてみるとこれも亦誠意を以つて應じなければならぬのであります。時には自分の百も承知の事を教へられる事もありませ

う。しかし夫れ故に不遜であつてよいものでせう

か。何はともあれ講習とは、常に教へる立場に立つて教へられる身を忘れ勝な我々に與へられた一つのよりよい修養時期なのでありますからその意味からいつた丈けでも出来る丈けの誠意を以つてこの境涯を味はねばならないものでせう。この誠意とは講師に對しての誠意ではありません自らに對しての誠意です。

次に考へたいのは高尚な目標と要求を持つて參加しなければならぬといふ事です。もしも講習生中に新しい教育説をときて歸つて皆を驚かしてやりたいとか新しい事をならつて兒童にさせて世人の賞讃を得たいとか考へてゐるものがあるとしたら誠に卑むべきであると思ひます。多少でも衰へかけた知識や技術を補足しよどみかけた精神を作興して新しい生氣を以つて來るべき日を教へようとする希望と要求を以つて臨まなければならぬ

いのであります。

講習について新しいものを探して來ようかなどと考へて來たら本當に失望もしなければならず不平も言はなければならぬやうになります。講師側に教へようとする準備と確信のあるやうに、講習生側にも習はうとする準備と熱がなければならぬものではありますまいか。

以上述べたやうな點が講師、講習生の兩面に完全に行はれたとしたら一年中の勞苦も憂慮も此の期に於いて洗ひ流されたやうな爽快さを味ひ、若い學生時代のその感激と熱とを呼戻したやうな生々した環境に身を委ねる事が出来るのでありまして炎暑の頃の講習も、みどりの木蔭の晨に似た思ひに變るものではないでせうか。そして袖すり合つたのさへ縁と思ひなされる程の人なつかしい我々の氣持は更になごんで講師講習生の一團となつた和合の雰圍氣に其の研究と反省とを積んでゆく

事が出来るのだと信じます。

講習の現状

考へると淋しくなる

私は今迄理想の講習會について夢みて來ましたが一度眼を現状に向けて見度いと思ひます。そこには呪ふべき講習弊が満ちてはゐますまいか。かう考へるのは一體私だけでせうか。

私はこの二三年の間に講習が賣物に出たのを幾度も聞きました。はじめは餘りの可笑しさに嘘だと思ひました。しかし賣物に出した講師の名さへいはれて見ればさうく何時迄も否定して居るわけにも行かなくなりました。もし之が事實だとすれば由々しき大事だといはなければなりません。講師の賣名の爲か、或は金儲けの爲かよく解釋して主義宣傳の爲か、とにかく一講習何程として定價を附して廣告するといふに至つては本當に恥し

い思ひが致します。こんな風にしては講師の權威も失はれてしまふ事になります。

しかし現在では經濟的利益を目的にして講習を計劃する人達は可なり澤山ありますが、これは講習の内容に直接關係のない主催者側の事でありますから内容がよければまあいゝとして講習に直接關係ある講師が講習を押賣する事は本當に講習の神聖を冒瀆するものでありますから、絶対に避けなければならぬのであります。しかし何がかうした講習の賣物を出させたかを考へると、そこには講習生の側にも負ふべき責任の一端を見出さなければならぬのであります。これは世間一般の講習生が餘りに新しいものを求める事のみ汲々として、確實な定見のない事、又は材料蒐集の弊に陥つて何でも目新しいものを集めようとする其の弱點につけ入られたものなのであります。

この材料の新しいものを内容の如何を研究する

事なしに逐ふといふ傾向は世の教育者達が世評に動かされやすく教師としての信念の餘りに薄弱である事を表すものであります。

つまり教育の對者を兒童に置くべきを誤つて世人の批評に置いた點より生じた悲しむべき現象であります。

體育に關する講習

この講習の一般的弊はすべての場合に見られるのであります。が殊に甚しいのは、體育に關するものに於いてであります。これは體育は一つの技術實科である爲だと思ひます。それと發達がまだ新しい階梯にある爲に特にさういふ弊が見られるのであらうと思ひます。

思想的のものでとさう全部表面にあらはれて參りませんが、競技だとかダンスだとか體操だとかいふものはすべて技術を主とする學科である爲

に成績が直ちに表面にあらはれて參ります。で世人の眼には容易に皮相的の批評は出来るので、もし教師が定見を持たない場合には、この皮相的な批評にたやすく動されるやうになつて其の結果として新しいものゝ珍らしいものを求めて歩まなければならなくなつて參ります。

そして何時の間にか講習が恰も之等の人々の材料仕入所のやうなものになつてしまふのであります。試みに講習生の要求を尋ねてみるならば殆ど三分の二迄は今年の運動會に何にいゝ材料を集めたいとか、學藝會にする材料を教へてほしいとか申します、私の生活を本當によくのびた體に仕上げるのに適當な材料を知り度いなどと考へてゐられる方は一體何人ある事でせう。私はかうした實狀を見る度に講習の前途に一抹の暗影を示されたやうな物寂しきを感じます。

しかしかう申しまして體育講習會が弊害のみ

を持つたものだといふのではありません。かへつては日本の體育が今日の盛況を見るに至つたのは偏に講習の賜であつたとさへ言へるので、其の効果の實に偉大であつたのを認める事ができます。

そして今後と雖もこの講習はたしかに體育界のリーダーとなつてゆく重任を持つものと考へられるのであります。故に此の際に於いて間違ひのない理想を打ち立て、從來の弊害を捨て眞の教育への指針であるやうな實質をこれに盛り込んでゆき度いものだと思ひます。

この爲には主催側へ或は講師への注文や要求も勿論ありませうが、まづ先決問題は我々講習を受けるものゝ眞の覺醒といふ事であります。こつちで本當の目的を確立し、更に研究的態度を以つて講習に臨むやうになれば自然に講習の選擇といふやうな事も行はれて來ますので、ふら／＼とよい加減なものに誘ひ込まれるやうな事はなくなりま

す。さうなれば自然により加減な講習は消失して充實したものゝみとなつて來るにちがひありません。

講習の選擇

講習を自分のものとするのに自覺のある講習の受け方をする爲には其の目的をよく考へて見なくてはなりません。そして目的が定つた上は數多い講習中からその目的によく合つたものを選ぶことにした方がよいのです。自分の要求にびつたりとしないものだ、どんな良い講習も案外につまらなく終る事があります。勿論この選擇の場合には其の内容等も知り得る範圍だけは知らなければなりません。何をするのかも知らずに來た、などいふ事は自分に對して餘りに無責任な恥しい事であると思ひます。慎重な選擇を経てやがてその終つた時に立派な獲物のあるやうにしたいものだ

と思ひます。

講習の整理

如何な事でも整理といふ事が必要であります。首尾完結させる爲には整理はなくてはならぬ仕事です。講習等に於いては特にこの終了後の整理といふ事が大切なのです。これによつて講習が永遠に生さるか又は一時的のものとしてやがて消滅するか別れる時もあります。

講習を受け放して其のまゝにして置いたのでは本當に自分自身のものとして使ひ得ないものです。若しそれを我もの顔に使はうとする時は妙に不自然なものが表れて参ります。本人には一向氣づかなくとも第三者から靜かに觀察すれば實に不調和な場合があります。如何なる名言も高説も之を吸収し消化して後にはじめて其の人のものとしての眞價が出るのでうけ賣りには生氣がありません。

ん。生氣のないものには人の心をうつやうな貴さがありません。私の意味してゐる講習の整理とは即ちこの吸収したものをよく消化し切る迄練る事です。一例をダンスにとつて見るならば世界的ダンスとして一流のアンナ・バプロヴァでさへ五十餘歳の今日なほその技の爲に毎朝少くとも二時間の猛練習を續けてゐるといふ事です。我々が三日や四日の講習で習つた六つも七つもあるものを單に順序を知つてゐるといふ事だけで人に教へるなどといふ大膽は考へれば到底出來得ない事でせう。

これは獨ダンスのみではなくて、すべての講習に必要な事です。から想をまとめなければならぬのはまとめ、練習を必要とするものは心の満足がゆく迄練習しなければならぬのです。そして短日月の講習を最も意義あるものとして終るやうにしたいものです。(三八頁へつゞく)

お話の調べはいつ始められるのか（お話漫筆三）

長尾 豊

お話そのものを

「何がお話か。」お話とはどんなものか知らない人はないとしても、さてお話とは何かと坐り直して考へて見ると、餘りさう容易に答へられる問題ではなくなる。假にお話といふものが分つたにしても、どれが好いお話で、どれが面白いお話かといふ事になると、大分むづかしい問題に成つて来る。更に其のお話がなぜ好いお話なのか、どうして面白いお話であるか、其の面白いわけを調べるといふ段になれば、一層むづかしい事になる。

けれどもお話を調べ、好いお話や面白いお話を

知るには、昔からある名高いお話を調べて、それがなぜ面白いのか、子供にも話して聞かせて話材や話のもつ意味や、話の組立や、聞手の喜ぶところを仔細に見なければ、實は何も分らない事になる。只お話をする、お話を聞かせるといふことにも、實は此のお話を調べて、下讀みをして置くやうな用意はなければならぬが、併し、お話を扱はうとすれば先づ其の前にひと通りはお話といふものに就いて調べて置いても好い筈である。

お話を調べるのに先づ児童とお話の関係といふやうな所から調べ始めるのも、決してあやまりではなからうが、それは要するに児童とお話の関係

であつて、それだけ調べたのではまだ「お話」を調べた事にはならないと思ふ。此の頃では大抵の児童學の書物や児童心理の書物にも童話のこと、お話のことは出てゐる。さういふ所に根據を置いてお話を調べるのは、甚だ結構なことと思ふが、併し、児童學や児童心理だけで、お話研究やお話教育の問題を片附けるわけにはいかない。お話に關して調べることももとより必要ではあるが、お話そのものを、實際に當つて調べて見なければ、机上の空論でないにしても、議論だけ覺えたのでは先づ餘り役に立つものではないと思はれる。

文藝論とお話の仕方

お話といふものは多くの人が考へてゐるやうにそして扱つてゐるやうに、そんなに容易なものではないと思ふ。が又決して手も附けられないやうなむづかしいものでもないと思ふ。お話にも理論

と實際のふたつの方面がある。理論の方面も調べればひと通りは調べられるし、實際の方も先づ其の心して手掛けてゐればひとわたりは分るものらしい。けれども今日では調べられてゐる範圍が餘り廣くなく、又往々にして的放れなお話研究もあるので、お話を調べる人は定めし調べ憎からうと思はれる。

理論の方から言へば先づ童話論といふものがあつて、一般の童話に就いて概念を與へて呉れるが其の一方には創作童話家の童話論があつて、表面これが混同されてゐる。童話作家の童話論は先づ文藝論で、一般の童話を調べる上には餘り役に立たない。しかも一般の童話を文藝として調べるといふやうなことは、今日餘り行はれない。

實際にお話を聞かせる方面でも、只お話をする時の方法論や態度論だけで終始してゐる。それも多くは演壇に立つて、多勢を相手に話すやうな場

合のことが考へられてゐる。そしてお話の仕方が調べられる一方では、お話そのものが等閑に附せられて、幼兒噺や童話をほんたうに調べるといふやうな事とはいよゝ遠く成つて行く。それも専門的なお話口演家がさうであるのは先づ好いとして、其の摸倣者達から、お話はかくすべきものと早飲み込んできめてしまふのは詰まらない事だと思ふ。一時「見るお話」といふわけでもあるまいが、話術の動作化が流行したらしい。そして其の首唱者が黙つてしまつた今日此の頃に成つて、それが多くのお話口演家や、いかにお話を聞かすべきかといふ事を考へる人達の間に入込んでゐる。一時の流行が今日やつと普及したもののかとも思はれる。

いつまで續くのか

お話の議論がどうあらうとも、又其の仕方がい

かに調べられようと、昔からある名高いお話、幼兒噺や童話を調べないで、ひとつのお話でも出来るものではない。諸國の幼兒噺やグリムの童話集などから、代表的なお話を選んで調べて見ることは、最も實際的なお話の研究であると思ふが、其所に支障とするのは、よい翻譯や再話の少ない事である。

多くの童話書は童話を話文學として傳へてゐない。幼兒噺などになると、言はゞ子供だましのものを書いてゐると言つた鹽梅で、少しも原話の文學的な匂ひが傳へてない。原話の形態や叙述、それから来る美しさや面白味の夥しく失はれてゐる場合が多い。さういふ生硬な紹介でも、原始の妙は窺はれないことはないが、餘程氣を附けて讀まない、ともすれば見過してしまふお話がある。そこで好いお話、面白いお話が取立てゝ調べられないのは、ひとつは此の紹介翻譯が、お話を

調べるために、鑑賞といふ態度で讀むのに不適當なものだからと思はれる。

お話の呼び聲高く、世間では先づ流行してゐるやうでもあり、又それがやうやく重視され、研究される機運に向ひながら、なほ好いお話面白いお話、昔からある名高いお話が調べられずに、此の頃出來の好い加減にデツチ上げられたものや、好いお話の歪められたものが其のまま行はれてゐるのは、やはり此の好いお話、面白いお話、昔からある名高いお話が調べられない事に原因してゐると思ふ。

繪畫や音樂といふものは習はなければ、學ばなければ出來ないものである。詩や劇や童話といふものも同様に學ばるべきものであり、習つて出來るものであると思ふが、童話や兒童劇やお話の事になると、繪畫や音樂の半分も學ばれてはゐない。勿論それを學ぶことの便宜が乏しいことも其

の原因ではあらうが、いつまで此の状態が続くのであらうか。分り切つたやうな事で、思へば不思議な話である。

（三四頁より）

○

講習の利用といふ事が近來益々盛になつた事は誠に喜ばしい現象であると思ひます。之によつて我々の利益せられる點も亦非常なものであります。が、一朝その利用をあやまるとかへつて弊を醸し出す事になります。故に此の際出來るだけの努力と眞面目な精神を以つてこの講習の善用につとめ講習の理想境を作つてこれを所謂我々等の講習とし、從來の弊を一掃したいものであります。



五月のある日

及川ふみ

粘土のちしどりも出来た。いつもならお部屋のあと片づけをすませて新緑の庭へとび出して遊ぶのに今日も雨だ。よく降る雨だ保姆の自分もこの雨がうらめしいが幼児は尙さらどんなにうらめしい事でせう。

窓ぎわに椅子をもちよつて「ナンデセウ」を始めた。

四月號のコドモノクニの長尾豊氏のナンデセウです。これは時々に向向にごさを敷いた上でやる時もありますので幼児たちもすつかり覚えてしまひました。

と云ひ出せば

ワタシハ イツデモ タタカレル タタケバ大
キナ オトガスル、ボツチャン ワタシハナン
デセウ

ソナラオマヘハ オタイコダ
ドンドコドン ドンドコドン

と幼児は應じる

ワタシハ クルクルヨク マハル 一ボンアシ
デモ コロバナイ ボツチャン ワタシハナ
ンデセウ

とつゞけると

オマヘハ コマダ サウダラウ

クル クル クル クル クル クル

ワタシハ トラデハアリマセン ソレデモトラ

ニニテキマス トラニニテキテ ウチニキル

ワタシハ ボツチャン ナンデセウ

オマヘハネコダ サウダラウ

と幼児がなどをといたり自分がなどをといたりして一しきり遊ぶ。

そのうちに一幼児

朝早く一本道を通るもの何——に

とかければ

雨戸でせう

とすぐに二三人がとく

また一人

いるときいらないう いらないうきにいるもの

何に

と云へば

あふろのふた

と二三人がまたすぐとく

今度は先生が云ひませう

一番外側に針の着物次がかたい皮の着物 三番

目にはうすい着物を着てゐるものは何でせう

云く

毛虫だ——

ちがひます又一人

栗だ栗だ

今度はね

外側はかたいが内側はやはらかくて、圓いけれ

どもまりの様にはまるくない、横にはころく

ころがるがたてにはころがらないもの何——

に

それは卵だお姉さんにおそはつた

それでは

赤い袋の中の赤い坊さん何に

ほうづき ほうづき と連發した

それでは

始は四本あしであるいて次は二本あしで歩いて
あとで三本あしであるくもの何——に

人間だ 人間だ

とこれもよく知つてゐるまだ知つてゐるなどはあ
りませんかね。

一幼兒

上で火がもえてあつい涙をポロリ ポロリとあ
とすもの何に

何でせう 何でせう 皆が考へた煙突から出る
火の子かと思つたが少しあかしいなか／＼このな
どはとけない。

博久さん降參 降參 あしへて頂戴

ローソクだよ

蠟の、流れる涙には思ひもよらなかつた。ロー
ソクにはこの頃ご縁が遠い一つ、きいて見ると停

電の時に使ふものだよと四五人がいつた。
又一人、僕知つてゐるなどがあるよ

口からたべて下から出すもの何——に

澤山ある様でもなか／＼ないものだこつそりび
らうなことをいふ人もあつた、提案者はそれをき
ゝつけて憤慨してゐる、口からたべて背からはく
ものならストーブだがと一人ごとを云つてゐると
それなら僕も知つてゐると横から云ひ出したなか
／＼とけない提案者は得意になつて

ポストだよ

と教へた何るほど
となどの會はあしまひにしてお辨當の支度をはじ
めた。

神戸市立神戸幼稚園長望月クニ女史は本月
五日横濱出帆、九月まで滯米幼稚園視察の
由

(B)、更に男児について見ると

八 月 生	九 月 生	十 月 生	十 一 月 生	十 二 月 生	一 月 生	二 月 生	三 月 生	合 計	幼 兒 數	四 月 生	五 月 生	六 月 生	七 月 生
一〇	七	六	八	九	一二	四	九	八六	第一	七	八	七	六
九	五	五	八	九	九	四	六	七〇	第二	七	八	七	六
一〇	五	四	七	八	八	三	五	六七	第三	七	六	七	五
九	五	四	五	六	六	二	二	五〇	第四	七	六	七	四
八	三	三	四	六	五	二	四	四九	第五	四	六	七	三
六	二	〇	三	四	三	二	一	三四	六以上の	二	四	六	七
一	一	〇	一	三	〇	二	二	一五		二	四	七	三

(C)、之を左の如く三ヶ月毎に分けて見ます。

6 5 4			月	女 兒	幼 兒 數	1	2	3	4	5	6	(c)、之を左の如く三ヶ月毎に分けて見ます。	合	三	二	一	十	十	九	八
一	三	一	〇										一	〇	一	三	八	五	五	八
一	〇	一	〇	二	九	七	八	九	八	一	〇	八	一	一	三	一	五	五	八	五
一	〇	一	〇	二	八	九	八	一	八	一	八	一	一	一	一	一	四	五	八	四
二	一	二	一	三	八	一	八	二	七	八	七	三	七	七	八	七	五	七	三	
七	〇	七	〇	四	七	〇	八	八	七	七	二	四	六	七	七	二	四	六	三	
六	八	六	八	五	六	八	八	九	七	五	二	四	六	三	五	二	四	六	三	
五	二	五	二	六	五	二	八	五	五	四	二	二	四	二	五	二	二	四	二	
四	七	四	七	七	三	七	四	一	二	四	二	二	四	二	四	二	二	四	二	

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 12 11 10 9 8 7

男

兒

一八 一九 二三 二五 二三 二五

一七 一八 二三 一九 二三 一九

一五 一六 二三 一六 一九 二三

一三 一四 二〇 一〇 一五 一九

一二 一三 二〇 一一 一三 一六

八 九 一七 六 七 一〇

八 九 一三 四 四 三

合計	3 2 1		
	3	2	1
九七	三八	三二	二八
八九	二二	二二	二四
八一	二二	二二	二四
七〇	二二	二二	二四
六八	二二	二二	二四
五五	二二	二二	二四
三七	二二	二二	二四

四

以上の實數を比較するために歩合にて示すと次の如くになります

(A)、女 兒

十 月 生	九 月 生	八 月 生	七 月 生	六 月 生	五 月 生	四 月 生	第一	第二	第三	第四	第五	第六
八三・三	七一・四	九〇・〇	六一・五	一〇〇・〇	六六・七	七五・〇	第一	第二	第三	第四	第五	第六
六六・七	七一・四	一〇〇・〇	八六・五	一〇〇・〇	六六・七	七五・〇	第二	第三	第四	第五	第六	第七
六六・七	七一・四	九〇・〇	六一・五	一〇〇・〇	六六・七	八七・五	第三	第四	第五	第六	第七	第八
五〇・〇	四二・九	八〇・〇	六一・五	五〇・〇	三三・三	八七・五	第四	第五	第六	第七	第八	第九
〇	二八・六	六〇・〇	二五・〇	一〇〇・〇	三三・三	一〇〇・〇	第五	第六	第七	第八	第九	第十
〇	一四・三	一〇・〇	一二・五	〇	三三・三	三七・五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一

(B)、男
兒

十一月生	十月生	九月生	八月生	七月生	六月生	五月生	四月生	平均	三月生	二月生	一月生	十二月生	十一月生
八〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	八〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	八一・四	六六・七	一〇〇・〇	八一・七	一〇〇・〇	一〇〇・〇
六〇・〇	一〇〇・〇	八七・五	六〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	七七・九	五五・六	七五・〇	六六・七	八八・九	八七・五
四〇・〇	八〇・〇	七五・〇	六〇・〇	六三・三	一〇〇・〇	七五・〇	一〇〇・〇	五八・一	二二・二	五〇・〇	五〇・〇	六六・七	六二・五
四〇・〇	八〇・〇	七五・〇	六〇・〇	六六・七	一〇〇・〇	七五・〇	一〇〇・〇	五六・六	四四・四	五〇・〇	四一・七	六六・七	五〇・〇
四〇・〇	四〇・〇	五〇・〇	四〇・〇	五〇・〇	一〇〇・〇	七五・〇	五六・三	三九・五	一一・一	五〇・〇	二五・〇	四四・五	三七・五
四〇・〇	四〇・〇	五〇・〇	四〇・〇	五〇・〇	一〇〇・〇	五〇・〇	二八・六	一七・四	二二・二	五〇・〇	〇	三三・三	一二・五

(C)、更に三ヶ月に分けた歩合を示すと次の如くであります。

女 兒

十二月生	一〇〇・〇	八七・五	八七・五	六二・五	五〇・〇	五〇・〇
一 月 生	八四・六	六一・五	五三・八	五三・八	三八・五	一五・四
二 月 生	八六・七	八〇・〇	五三・三	六〇・〇	三三・三	六・六
三 月 生	八〇・〇	八〇・〇	八〇・〇	八〇・〇	八〇・〇	四〇・〇
平 均	九一・八	八三・五	七二・二	七一・一	五三・六	三八・一

男 兒

四、五、六月生	八六・九	八六・九	八四・六	六九・二	八四・六	三〇・八
七、八、九月生	七六・〇	八八・〇	七六・〇	六四・〇	四〇・〇	一二・〇
十、十一、十二月生	九五・六	八二・六	六五・二	五六・五	三〇・四	一七・四
一、二、三月生	七六・〇	六四・〇	四〇・〇	四四・〇	二四・〇	一六・〇
男 兒						
四、五、六月生	一〇〇・〇	一〇〇・〇	八〇・〇	八〇・〇	六八・〇	五二・〇
七、八、九月生	九四・七	八四・二	六八・四	五七・九	四七・四	四七・四
十、十一、十二月生	九四・四	八三・三	七二・二	六一・一	四四・四	四四・四

一、二、三月生 八四・二 七三・七 六〇・五 六三・一 四七・四 一八・四

五

以上の結果を見ると、

第一に生月が大に關係する有様が誠に明白であります。女兒に於ても男兒に於ても四、五、六月生のものは一、二、三月生のものよりも遙かに數觀念が發達してゐませう。これは至極當然なことで、滿四歳位の幼兒に於て半年以上の年齢差は身體精神の發達に著しき影響をもつことは申すまでもないことでもあります。それで同年齡の幼兒といつても實は身體の發育に於ても、精神の發達に於ても幼兒毎に大なる個人差があることを認めねばなりません。こんなことは誰でも承知してゐることのやうであります。が、一組として同年齡者を集めてゐると兎角劃一に考へる虞があることに警戒を要するのであります。

第二に四つまでを數へて箱の中に入れることが出來、また明白に四つまで數へることが出來る幼兒は滿四歳兒として普通であることが分りませう。勿論だつ兒であつて、數へることをしない幼兒もあり幼稚なるが爲に數へることが出來ないものもあり、また人見知りをするがために數觀念は發達してゐても發表せぬものもありますから、單純に數觀念が發達せぬとか、してゐると斷定することが出來ませんが、四を數へることが出來るものと五を數へることが出來るものとの歩合に著しい相違があることは注目し値するものでありませう。

第三に満四歳児では數の觀念が一般に女兒よりも男児の方が著しく發達してゐるものを認めることが出来ませう。右の調査では七、八、九月生の男児が女兒よりも劣つてゐる如く現はれてゐますが、その他は一般に男児の方が優秀な歩合を占めてゐることは男児の方が多く數生活をなすことが多く、自然の必要上數觀念の發達することを示すものと考へてよいと思はれます。

第四に五つまたは五つ以上を數へることが出来る幼兒は遙に男児に多いのであります。一般に四、五、六月生の幼兒よりも一、二、三月生の幼兒は劣つてゐますが、男児は五つ以上を數へ得る幼兒の歩合が四十%を超えてゐるが、女兒では二〇%を超えない位であります。

以上は僅少なる幼兒について調査した結果でありますから十分に信賴することが出来ない數値であります。しかし尙ほいろ／＼のことを斷定しても不都合がない結果にあると思はれます。これは兎に角東京市の幼兒についての結果でありますから全國にわたつての幼兒の數觀念の發達問題は勿論分りません。また満五歳満六歳と如何に變化するかも將來の研究材料であります。

月刊雜誌 宗教教育 定價半年分一圓廿錢
（毎月第一日曜發行） 一年分二圓廿錢

◆信仰とは一言すれば子供がもつて生れた宗教性を完全に教育するにある。
◆本誌は數界の先覺者及教育、宗教主導の新人諸氏多數の特別執筆による指導者には勿論一般家庭必讀の宗教雜誌である

發行所

シオシ教育會

振替東京七九一七一番

東京府墨田區下町一六二三

幼兒畫に現れた種々

(昭和四年二月十三日より三月十六日まで)

東京女子高等師範學校家事科敎生

四週間の月日を私達は幼兒を友として暮した。永い間寄宿生活にあつて幼兒の生活を覗く事も充分なし得なかつた私達は先づ幼兒の生活を壊さないように注意して仲間入りする事が大きな仕事であつた。肉體の働きと一緒に精神的に大きな努力が要る。無意識では自分の統制も亂れてゐる時もあるので幼兒の生活を壊しさうである。さうかと云つて意識的でのみある事は尙恐ろしい。細心の注意を拂ひながらゆつたりと振舞はねばならなかつた。努力しようにも戸惑ひして手をつかねばならなくなつた。然しそのまゝで止む事も出来ない。四週間友として暮した幼い人達の實際生活から得たものを形としてよりよき記念を残さずにはゐられない。斯うした心から次のやうなしらべものを作つて見た。

日頃幼稚園の仕事となつてゐる御繪書き(自由畫)と、下手な邪魔はしたくないと極くひかへめにいくらかの條件を附けて書いた繪とを材料とした。

I 表情畫

笑つた顔、泣いた顔、怒つた顔を書かせた。この三つの表情を區別した者の數を表せば

	年長組男31人 女25人の中		年少組男25人 女25人の中	
目も口も區別せる者	12人	5人	2人	6人
目のみ區別せる者	6人	2人	5人	2人
口のみ區別せる者	4人	—	7人	3人
其他の表出手段を用ひし者	15人	8人	3人	—

笑つた顔



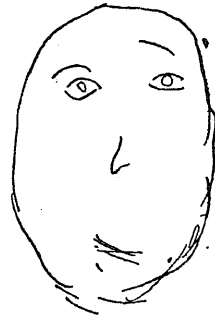
泣いた顔

其他の表出手段と云ふのは笑つた顔に就て云へば、女を描いて特にその頬に紅をさしたる畫が多く、又眼を細くし殆んど無視した者が二三あつた。泣いた顔には全體の2/3位は涙を以つて之を表出してゐた。又表情だけで之を表せなくて喪章を附ける事によつて泣くと云ふ表情を表さうとしてゐる者もあつた。

怒つた顔は他の表情よりも幼兒にとつて表し易いらしかつた髪を立てたもの、角を生した者、一體に線を強くした者、又芝居から表情を採つた者もあつた、以上の事柄は年長組に於て割合に表出が明である。

II 物語りを繪にかゝせてた

笑った顔



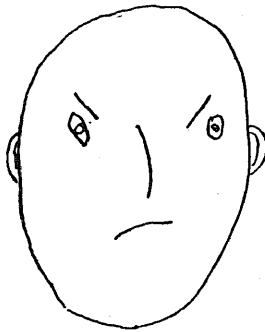
恐った顔



笑った顔



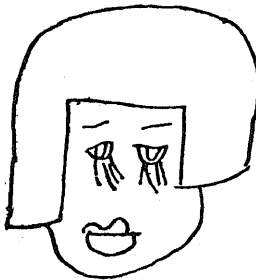
恐った顔



恐った顔



泣いた顔



大體の筋は次の様である。天井から取出した大きな黒い團扇で水谷先生が堀先生を扇いだら堀先生が南極へ飛んで行つてしまつた。先生は泣いて居たが珍しいお辭儀をするペンギン鳥に會つたので嬉しくなる。水谷先生はさうとは知らず、どうしたらよいだらうと思つて心配する。さうしたら團扇の柄に（この柄を引くと歸る）と書いてあつたのでその通りにして堀先生を歸らせる事が出來た。

之は他の話と一緒に前の日に聞いたので、いくらか想ひ起させるために別々の先生がヒントを與へなければならなくなつた。そのために正確な成績は得られなかつた、然し年少組は話を畫に書くと言ふ事は束縛を感じずらしいが年長組は寧ろ興味を以て書いた。一體に知らない所に行つて悲しくて泣くと言ふ事よりは團扇で煽いだら飛ぶ、とかペンギン鳥とお話をする、とか云ふ様な積極的な場面を書いてゐる。年少組は團扇と云ふ様なものを畫き、年長組になると物語りの筋を書いてゐるものも一二あつた。

III 寫 生

年少組には「描けない」と嫌がる者が多く、年長組は割合に興味を以つてかいた、が普通の自由畫よりは一倍半の時間を要した。又寫生に於て現れた特徴の著しいものは見てそのまゝかくと云ふよりも記憶によつてかくと云ふ事である。自分の前に前向の象があつたにしても象として記憶するものが横向であればその通り横向にかく。この象の様に記憶にはつきりしたものをかゝせると苦痛なしに描く事が出来るが、記憶に乏しい例へば花瓶に花を二三本挿した様なものになるとかなり難しい様である。

年長組の方は大體均整のとれたものを畫き、花も色や、大きさ、形等によつて、幾分區別してゐるものが多い。年少組になると花瓶と花の釣合及び畫と畫用紙との釣合がとれてゐない。花瓶には桃と菜の花が挿してあつたが桃の枝の先に黄色い菜の花を附けてゐる。

一體に象の方は男兒が形の整つたものを畫き、花になると女兒が色の使ひ方その他釣合等に於つて勝つてゐる。

IV 自由畫に就て

之は繪畫の帳面から取つたものである。

自由畫に現はれたもの、種類をしらべた。

數の多いものから順に並べると次の様である。

年 長 組

男 舟。景色。電車。家。自動車。汽車。人。

女 花。景色。家。人。舟。器物。

年 少 組

男 舟。電車。自動車。人。花。景色。

女 人。花。家。電車。旗。景色。

之は幾分模倣や練習が加つてゐる。年長組になると意味の分らないものは殆ど無い。

下級組は錯畫とても云はうか線で出来た意味の解らないものを畫く子供も居る。

聞けばそれ／＼意味を附けてゐてさうかと思はれるものもある。

一體に風でも、神様でも、又飛行機の飛んだ跡でも目に見えるものと同様に畫にしようとする。表によつて見られるように年少組は人、舟と云ふ様にそのものだけをかくが、年長組になると附屬物を加へるものが多い、表の景色と云ふのは即ち之である。例へば家を描くにも木や空又は道や草花等を加へてゐる。之は發達の經路と見る事が出来るであらう。

女兒は花、家、人、男兒は舟、車等が多く色等も女兒は華やかな色を用ひ男兒はくすんだ色を多く用ふ。年長組は各個人の型が出来てゐる。批判的な分子も含まれてゐて、模倣も許さない。

「誰さんは上手だ僕は下手でせう」と云ふ様な事も云はれる。然しそれは心理的に意識的批評的と云ふよりも大人の語の模倣によるものと見られる。

前にも述べた通り年長組と年少組とは大變な相違を現してゐるが、この幼稚園では兒童の活動本位になされてゐるものであるから、この點から見ると幼兒の成長の大いさが肯かれる。

男女の相異點も幾分説はれる。幼兒畫と云つても年齢と場所と日月とを限られ、然かも背景となる知識に乏しいのであるから、おぼつかない右の數言を躊躇しながら述べる次第である。

以上



嵯峨便り

老姉妹

久し振りで郷里大阪府下の墓参かたがた京阪神地方の知人訪問を兼ねて新緑の景色を見物せんとて、四月二日東京を出發し京都驛より山陰線に乗り換へ嵯峨驛に下車し嵯峨の庵に安着、暫く此處に滞在する事となる。

大阪市内の數園を參觀するに何れも熱心に保育に従事せらるるに感心す。茲に感謝すべき事は親愛なる保姆諸氏の私共兩姉妹の爲めに兩日にわたりて懇情の籠れる歡迎會を開催せられ、懷舊談や隠くし藝に時間の立つをも知らず最も愉快に親しき會合を受けし事は光榮此上もなき次第なりき。

右の會合の席上保姆諸氏より先般幼稚園協會に

豫約申込みし蓄音器レコードの未だ到着なく一同鶴首し待ちつつあり、御様子如何にや、との尋ねを受けました。付ては遠からず送附有るべく存じますが尙歸京の上は早速同會へ問合すべく答へ置きました。尙一度レコードを聽いた上豫約申込度希望者も有る由かたがた之れが到着を待ち居らるる由なり。就ては先日私共姉妹へ頂戴致したレコードを持參致しましたので一日此保姆諸氏を嵐山新緑見物の御案内を致しました序を以て此レコードを御聽さに入れました處老人の聲とは思はれぬ美音なりとの賞讃を受けました事は全く幼稚園協會の蔭なる事を感謝致します次第で御座います。

此蓄音器製作に付ての概略を保姆諸氏へ御話致しました。夫れは倉橋、堀の兩先生が發起者として特に御盡力ありし事で我國唱歌の沿革上其最初のものとして後世に残す必要ありとて、御多忙中此非營利的なる吹込みを營利的日蓄會社へ交渉を重ねられ、昨年末霜凍る早朝より吹込の爲、堀先生は御多忙中私共老姉妹を日蓄會社に御附添下され何くれと御心切に御世話下さいました事を一同に御話致しましたら其御配慮の程を感謝されました。

京都市の幼稚園保姆數氏にも、一日、御來車を嵯峨に願ひ、レコードを御聽きに入りました處大阪の保姆諸氏と同様に美聲だと譽めて戴き此の幼稚園協會の美譽を感心せられました。

序ながら、京都地方見物の概要を述べれば先づ御所なる御大典の跡を拜觀し、其御盛典の如何に尊ふとかうし事を拜察奉り、又有名なる加茂葵祭の行列を拜觀して、其古雅なる繪卷物を見る如く、

又竹林新緑の丘が長く續き舊都の面影と情趣を喰る長岡天満宮の神泉の池の中央を通ずる道の兩側に霧島の燃ゆる如く咲き續きたる、實に美觀此上もなく嵐山の新緑は紺碧の大堰の清流と併せて雅趣深く、東山なる清水寺に續ける諸處の新緑はそれそれ特色の風致あり、斯く京都の地は到る處雅趣に富み爽快言はん方なし。

花時の十二日より開通した愛宕電鐵清瀧行きは嵐山驛より僅か十五分間で試み阪のトンネルを抜けば早や瀬々らぎの音清々しい清瀧川である。見上る愛宕滿山の新緑は若葉を渡る風の聲と爽快を覺ゆ。昔より愛宕昇りの勞苦も遠からずケーブルカーの開通して容易に登山する事となり目下工事を進めつつあり。

花見には少しく時期遅れたらん御室の花は幸にして見頃にて其高からぬ櫻樹の根元より満開の美觀は他に比類なきものなりし。(五月二十三日)

セルリの栽培 (四)

大 岩 金

セルリの生産

セルリの満足な生産を得ますには品種の優良なものを選定する事が安全第一であります。栽培管理の不注意の爲にセルリの生産に失敗を來すといふ事も世に多く傳へられる所であります。

先に品種の優良と申しましたが、是に加ふるに良種子でなければなりません。それには何と申しましても信用のある種子商から求めるのが一番であります。

セルリの種子は一ヶ年以上経過しましたものは實際価値のないものとされて居りますが、若し何

かの理由で一ヶ年以上保存せねばならない場合には密閉する事の出来る錫の容器等に入れて置かねばなりません。この年を越した種子は發芽率が大層減ずるとか、又病氣に侵され易いといふ事であります。

家庭園藝用としては極少量あればよろしく歐洲地方で栽培しました場合は殆ど何れの地方でも充分に結實採種する事が出來ます。種子は極安価なものであります。特に歐洲で良好な種類としましては、第一にセルフ、ブランピングであります。

多くの地方でセルリ生産を天然の状態で分類し

て早生のもの即ち少數と晩生のもの即ち主なるものとの二つに分けます。

寒地に於けるセルリ栽培には室内で發芽させる必要があります。即ち屋内か、温室か、温床か、必要であります。

一般には晩生種は冷床或は露地に播種しても好しいのでありますが早生種は特別の設備が必要であります。

箱利用の育苗

屋内で播種する際或は又少量の播種の場合の如きは本方法を用ひて便利であります。

箱とは即ち浅いものでよろしく盆様のものも同様の目的で使用されます。そうして此の箱は又本畑に定植その他の際苗を運搬するに用ひられます。而して箱の底には排水が保證出来る様な孔を有する事が必要でありまして、箱に入れる土は壤土即ち上等の畑土でなければなりません。是に

は普通よく腐熟した堆肥と腐植土と砂土とを混合した土を丁寧に混合して $1\frac{1}{2}$ インチ大の篩で篩つたものが望ましいのであります。

箱に土を入れた時には土は平でなければなりません。平にするには板片等で靜かに均らすのであります。

播種は二インチ位の距離を置いて極薄く條播します。覆土は最も薄い事が肝要でありまして、約 $1\frac{1}{8}$ インチ位にします。それは $1\frac{1}{4}$ インチ大の篩で靜かに前記の土壤を撒りかけましてその上を板片で靜かに叩いて少しかためましてから水分を與へます。此の際の給水には文字通りの如露を用ひますか、或は箱それ自身を靜かに水に浸しますのも良法であります。

それから後はその箱をなるべく室内の戸の近くに置いて一定の溫度を保つ様に注意する事、土壤の表面に乾燥の徵ある毎に給水する事を怠つては

なりません。

一般に種子は播下後凡そ十四日を經過しますと發芽する筈でありますから、それから後は充分日光に直射させる事に注意すると同時に、日光の來る方向を換へる事を忘れてはなりません。一方向にのみ放置する時は海岸の松並木の様な苗が出來ます事は御承知であります。

發芽後一週間即ち本葉二——三枚を生じました頃間引か、他の箱か、冷床に移植するかして各苗の距離は二インチ位にして置きまして専ら幼苗の生育を計るのであります。

温床利用の育苗

時として温室の棚を利用する場合もありますがここでは温室に就て記述する事は避けまして温床に就て専ら記述致します。

セルリの幼苗時代に於きましては夜を通じて華氏五五度——六五度、日中で六五度——七五度の

間の溫度を有する事が最も好ましい溫度とされてをります。

温床の準備の注意

木框で圍ひ、普通堆肥を用ひて植物根に充分な熱量を與へるのが温床の一般的の形であります。

温床は常に南向が貴べれます。そうして北側は家屋、納屋、板圍、生籬、等の保護物がある必要があります。保護物とは寒氣の來るのを防ぐ事でありです。

寒地等では二月下旬——三月上旬頃の播種用として此の頃造る場合がよくあります。

温床は造つて直ぐは役にたちませんがから一定の時期を経てから播種せねばなりませんし、又播種後は苗が一定の大きさに生育する迄熱が續かなければなりません。そこで以下に二三の實用的の温床に就きまして記述致しますが、それはその場所の状態、地方の状況等に依りまして各々適合する

様に變形利用されたいのであります。

一時的溫床

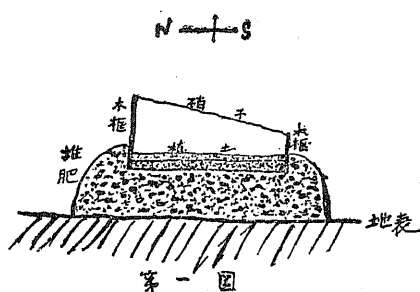
此の溫床は構造簡單でありまして、熱源は主として家畜舎から得られる厩肥を用ひます。

設置する場所は排水が好いといふ事が肝要でありまして其の場所へ前記の厩肥を高く積み踏み堅めるのであります。その小山の幅は八——九フィート、高さは一八——三〇インチ位にします。長さには適宜でよろしいのであります。

右の寸法は總て最も堅く積んだ場合の寸法であります。大體は圖で御覽になる様な型のものが出來上る譯であります。

ところで若し稍々長期間の熱を必要とする様な場合は落葉、或は藁等を厩肥に混じて堆積せねばなりません。

右の様にして熱源が準備出來ましたならば木框を圖示（第一圖）の様に置くのであります。無論



木框は床内の保溫の目的に用ひるのでありますから圖でも御わかりの様に南方は北方より框の高さを低くして日光が框内即ち溫床の中に充分入る様にするのであります。

前記の南方が北方より低くすると申しましたが、其の寸法は大體四——六インチ位でありまして是は日光を多量に射入させますと同時に、この勾配は雨水の排除の目的にもなるのであります。（上部には硝子障子をあきます。）

さて框の準備が整ひましたならば框の外部は堤狀に厩肥を圍ひまして框の中には植土を入れまして、その厚さは約四インチ入れまして、其の上に

尙二インチ位の厚さに壤土を篩ひ込みまして使用します。

永久的温床

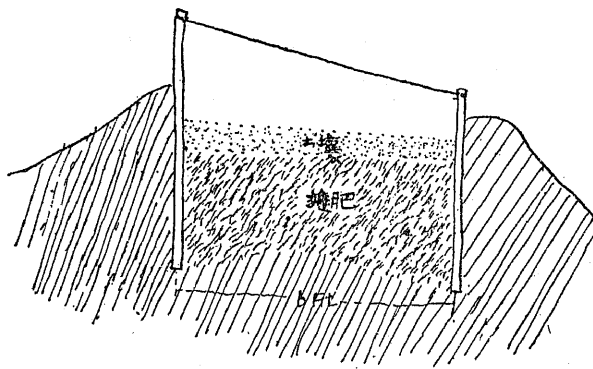
一時的に對する永久的といふ言葉でありまして眞の意味の永久ではありません。

温床に用ひます熱源は一般に永久的のものではありません。即ち堆、厩肥、其の他の有機物、熱湯、蒸氣、又は暖爐の煙、電氣等の如きものであります。

そこで所謂この永久的温床の熱源として厩肥を用ひます場合は地表より二四——三六インチ位の深さに堀つて凹を造ります。その底部は雨水或は給水が滲透する様な状態にしておかねばなりません。周圍は板（主に松柏科のもので保存に堪へるもの）石垣等で造ります。普通其の厚さは二インチ位あれば宜しいのであります。大體は略圖（第二圖）に示しました様なものであります。

温床の覆物

覆物としての硝子框の標準大きさは三——六フ



第 二 圖

イト位としますが其の材料は松柏科のものが用ひられます。然し要は安價にして保存年間の長い事でありま

す。その外の覆物は寒地及寒期の夜間は板、藁、麻布、粗布、又は敷物の古物、簾等を用ひます。或は又甚だ寒い場合には床上に藁とか軟かい堆肥の如き

ものを少量撒布する事が望ましいのであります。

温床の通氣及灌水

温床は好天氣の日には日光の射入で床内は大層温度が昇るから框の後方即ち北方を少々開けて通風を計り、日暮になればまだ暖かい中に日中開けておいた場所は閉めねばなりません。

灌水は晴天の朝一回のみする様にせねばなりません。曇天或は夕刻等に灌水しますと夜間に床面が氷結する危険を生ずる虞があります。

灌水後は日中に土壤(床面)及苗の葉等を充分通風する様にせねばなりません。濕氣過多の爲苗の枯死する様な事のない様注意を要します。

冷床の用法及構造並びに注意

冷床は前記温床よりもセルリ栽培に利用される場合は多いものです。而して冷床は寒地に於ては温床で早生作物苗を得たものの移植用として用ひ或は晩生作物は暖地の播種床として用ひます。

構造は一般に温床と同様でありますが唯熱源たる堆厩肥等は除きます。覆物としましては硝子の代りに木綿布を用ひる事もあります。

管理方法も温床の場合と同様適度の通風及灌水をする事等が必要であります。

そこでセルリを本圃に植ゑ出すには強健な苗を作つておかねばなりません。強健な苗を作り出すには適度の通風を計る事、及日光に露出する事等が重要な事柄です。さうすれば適度の微風にも當る譯であります。然し寒地或は降霜等の虞ある時は覆物をする様に準備しておかねばなりません。

次に灌水の一部を制限する事も強健な苗を作る一要素であります。植物の生育を烈しく抑止する事は最も注意を要する事であります。

理想とします苗は、盛に生育すること。風土に慣れたものであること。移植の變動に抵抗し得る準備の具はつてゐること。

以上の様な條件を具備したものであります。

童話 二つ

水谷年惠

蛤に吞まれたピン助

海の水が、さあつと引いた砂の上に、大きな大きな大蛤が一つ居ました。漁師達が大蛤を見附けて、

「やあい、皆お出で、大きな大きな大蛤が居るよ。」と叫びました。濟邊の人々は、

「どれ／＼、何處だ／＼。」

と言つて、子供や大人が、大勢出て來ました。

「ひやあ、でつかいね。」

「家よりも大きいなあ。」

「山ぐらゐだよ。」

皆は大蛤のまはりを取圍んで、わい／＼大騒ぎをしました。

すると、大蛤が、ばあつと口を開けました。さあ大變、子供も大人も大喜びで、手を打つたり、飛上つたりして、蛤の大きなおうちの中を覗きました。

ピン助といふ小さな男の子が、面白がつて、蛤のおうちの中へ飛込みました。人々はびっくりして、

「ピン助、だめだよつ。」

と言ひましたが、まだ言つてしまはないうちに、大蛤がぱくつと口を閉めてしまひました。さあ大變、

「ビン助が大蛤に呑まれた。大變だ、大變だ。」
と言つて騒ぎました。

ビン助のお父さんやお母さんは氣狂のやうになつて、大蛤に抱きついて

「ビン助を返せ——、ビン助を返せ——。」
と泣叫びました。

其の中に、海の水が沖の方から、だん／＼と押寄せて來ました。

「そら潮がさして來た。」

「皆早く岸へあがれよう。」

と言つて、大人も子供も皆岸の方へ走りました。

ビン助のお父さんとお母さんは、そんな事にはかまはず、

「ビン助やあい。」

「ビン助やあい。」

と叫んでゐます。他の人々が、

「潮が來た、さあ岸までお出で。」

と言つて、ビン助のお父さんお母さんを無理矢理引張つて岸へ上りました。

海の水はずん／＼濱邊へ寄せて來て、大蛤をすつかり隠してしまひました。ビン助のお父さんとお母さんは大急ぎで舟に乗つて、大蛤の居る邊へ漕いで行きました。そしてお父さんは海へ飛込んで大蛤を捜し、お母さんは船の上から、

「ビン助やあい、ビン助返せ——。」

と叫びました。

大勢の大人や子供は、濱邊から、

「ビン助やあい。」

「ビン助——。」

と大聲揃へて呼びました。

しばらくすると、ビン助のお父さんは、ビン助

をかゝへて水の上へ、ぶかりと浮びました。

「ビン助が助かつた。ビン助が。」

と船の上のお母さんは嬉泣き。お父さんの手から

ビン助を受取つて、舟の上へ引揚げました。

お父さんも後から揚つて、

「ふゝつ、ふゝつ。」

と息を吹きました。ビン助は息が切れて居りま

す。お母さんとお父さんは一生懸命でビン助を撫でて、

「ビン助——、ビン助——」

と呼び續けました。

濱邊の方から人々が心配して船を出して來まし

た。五艘も六艘も八艘も出て來ました。ビン助が

「ふゝつ。」

と息を吹きますと、お父さんもお母さんも

「ビン助や、氣が附いたかい。有難い、有難い。」

と言つて喜びました。これを見た人々も、

「ビン助萬歳、ビン助萬歳。」

と言つて喜びました。

ビン助はすぐ元氣になつて、

「僕、蛤にいい物貰つたよ。」

と言つて、手に握つてゐた小さなガラスの瓶を見

せました。お父さんもお母さんも、ビン助の手に

ガラス瓶のある事には氣が付きませんでした。

ビン助は其の小さなガラス瓶を差上げて、中を

すかして見ました。ガラス瓶の中には何かどろ

くしたものが這入つてゐました。ビン助のお父

さんが、

「どれお見せ。」

と言つて、ガラス瓶を手にとつて振つて見まし

た。不思議、小さなガラスの瓶の中のどろくが

もくくくと動いて、瓶の中では、紫色のもつ

くり山が、もくくと十も、二十も、三十も現は

れました。しかも其のもつくり山が、もくく

／＼と動いて居ます。お父さんもお母さんもピン助もびつくりしてしまひました。

「どれ、お母さんに見せて下さい。」

ピン助のお母さんが手に取つて、も一度振つて見ました。あら、不思議、どろ／＼がもく／＼／＼と動いて、今度は黄色の大入道が、どろ／＼／＼と動いて行きます。お父さんもお母さんもピン助も氣味が悪くなりました。それでピン助がガラスの栓を抜いて、なかのどろ／＼を海の中へどろ／＼つと、こぼしてしまひました。どろ／＼は海の水の中へ、こぼれました。

こぼれたかと思ふと、こぼれた水の上から、白い煙が濛々と立上つて、海の上の空に弘がりました。ピン助もお父さんもお母さんも、舟に乗つて出て來た大勢の人々も驚いて空を仰いで見てゐました。すると、其處へぼ／＼つと御殿が現はれました。お屋根も柱もびか／＼光つて居ます。お庭に

は花が咲き、樹が茂つて居ます。木の葉が風に吹かれて、ひら／＼と動いて居ます。お池には噴水があがり、白鳥が、すゝつ、すゝつと泳いで居ます。御殿の中から美しい／＼お姫様が出ていらつしやいました。お附きの人が後から大きな絹傘をさしかけて居ります。お姫様はお池の方へ歩いていらつしやいました。ピン助はじめ人々は、舟の中でも、濱邊でも、みんなあきれてぽかんと口を開けて眺めて居りました。

美しいお姫様が、ピン助の方を向いて、にっこりお笑ひになつたと思つたら、御殿も何も彼も皆すゝつと消えて無くなつてしまひました。

蛸のお茶碗

濱邊で五六人の男の子が蛸をいぢめて居りました。其處を通りかゝつたお爺さんが、其の蛸を可哀相に思つて、

「あい、みんな、此のお金をやるから、其の蛸を逃してやつて呉れないかい。」

と言ひました。男の子の一人が、

「お爺さん、ほんとにお金を呉れるのかい。」

と聞きました。お爺さんは、

「ほんとだとも、そらやるよ。皆で一つつ獨樂を買ひな。」

と言つて、お金を砂の上へ置きました。男の子達は喜んで、

「ぢや、逃してやるよ。一、二の三、あばよつ。」

と海の中へ蛸をほうり込みました。

ぢやぶんと音を残して、蛸は水の中へかくれてしまひました。お爺さんは、

「よく逃してやつて呉れた。有難う、有難う。」

と言つて行つてしまひました。

二三日たつて、お爺さんがまた濱邊を通りました。すると岩の陰から、

「お爺さん、お爺さん」

と呼ぶものがあります。誰が呼ぶのかと、お爺さんは其の邊を見廻しましたが、誰も見あたりません。

「はて、不思議なことだ。」

とひとり言を云つてゐると、又、

「お爺さん、お爺さん。」

と呼びます。

「誰だね、わしを呼んだのは、此處へ出て來なさい。」

とお爺さんが云ふと、岩の陰から、ちよろ／＼と一匹の蛸が出て來ました。

「何だ、蛸か、何か用があるのかい。」

とお爺さんが聞くと、蛸はぺこ／＼お辭儀をして

「お爺さん、此の間はどうも有難う御座いました。私はお爺さんに助けて頂いた者です。今日は其のお禮が申し上げたいので出て來ました。」

「さうかい、それは感心な事だ。もういゝよ、さ

あ早くお歸へり、又腕白小僧達に捕へられたら大變だよ。」

「お爺さん、ちよつとお待ち下さい。私はあなたに差上げたいものが御座います。」

「わしに何か呉れるのかね。それは有難い、何ても貰ふよ。」

「お爺さん、今此處に持つて居るのでは御座いません。それはまだ海の底にあるのです。」

「海の底にあるのか、それでは貰ふことはよさう。取りに行くのが大變だからね。」

「いゝえ、大變なことはありません。私が取つて來て差上げるのですから、お爺さんも手傳つて下さいませんか。」

「よし、よし、手傳はう。どうすればよいのかね。」

「お爺さん、長い綱を一本用意して來て下さい。それから船に乗つて、沖の方へ漕いで行つて下

さう。」

お爺さんは早速長い綱を一本持つて來ました。

そして蛸と一緒に船に乗つて、沖の方へ漕出して行きました。濱邊から遠く／＼離れた海の上で、蛸が、

「お爺さんもう漕ぐのを止めて下さい。私の足を一本だけ此の綱でしばつて、私を海の中へ入れて下さい。」

と言ひました。お爺さんは蛸の言つた通りに、船を漕ぐのをやめて、蛸の足を一本だけ長い綱でしばつて海の中へ入れました。暫くすると、海の底で蛸が綱を、つん／＼と引きました。お爺さんは大急ぎで、綱を手繰つて、

「どつこいしょ。」

と、蛸を船の上へ引揚げました。蛸は七本の足でしつかりと大きな茶碗を一つ掴んでゐました。

蛸は其の茶碗をお爺さんの前へ据えて、

「お爺さん、御苦勞様で御座いました。さあこれがお爺さんに差上げたいと思つた物で御座います。」

と言つて、丁寧に辭儀をしました。お爺さんは「へえ、此の茶碗を下さるのかい。それは有難う。此の茶碗には何かわけがあるのかね。」

と、茶碗を手にとつて、不思議さうに眺めて居ります。

「はい、わけがあります。大層面白いわけがあるのです。此の茶碗は昔々、遠い／＼國の王様が魔法使のお婆さんから貰つた茶碗です。此の茶碗で食べると、どんなまづい物でも、うまい／＼、頬ぺたが落ちる位うまい御馳走に變つてしまふので御座います。」

「へえ、それはいい茶碗だね、それがどうして海の底になぞあつたんだい。」

「どういふ不思議な茶碗ですから誰でも欲しいで

せう。でも王様ですから誰もすわつて見る事も出来ませんでした。それを悪者が一人盗み出してしまひました。そして船に乗つてどん／＼逃げて來ました。日本の海の此處迄來た時、大嵐が起つて、船がひつくり返つてしまひました。此の茶碗は其の時海の底へ沈んだのです。それから何萬年か此の茶碗は海の底にあつたので御座います。お爺さん、これから此の茶碗で御飯をおあがりになつて下さう。」

と言ひました。

お爺さんはそれから、毎日毎日、其の茶碗で御飯を食べて、

「あうまい、あうまい。」
と言ひましたとぞ。

糸は針につく



糸は針につく

戸倉ハル

一、説明

この遊戯は題目のやうに糸と針との關係を表はしたもので、或時は糸が針についてグル／＼と布を縫ひ、又ある時は針となり、又時には糸になつたり布になつたりして、互に縫ひつ縫はれつするところに、變化があつて愉快な面白い遊びである。

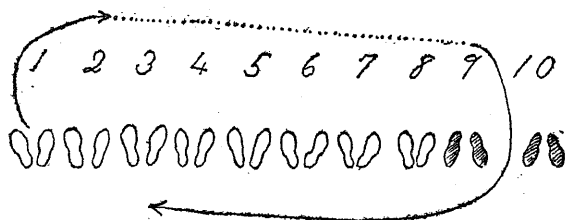
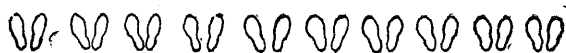
二、準備

子供を次のやうに十人づゝに分けて、番號をつけ各々手を繋がせる。

三、動作

A、まづ一番生は針になり、其他の者は皆糸となつ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



て曲につれて、軽いランニングステップで十番生と九番生との間をくどりぬけて、元の位置にかへる。其間十、九番生は反対の方向に（後方に）向き、手は前で交叉され縫はれて動けなくなるのである。

B、次に針は九、八番生の間をくどりて次々とすべての間を縫ひ終る。

C、更に一番生は交叉した手を頭上にあげ右の方へまわりながら一人づゝ元の方に向きなほる。

四、注 意

(1)、一番生が針になれば次には反対の十番生が針となり又は一度毎に針になるものを加へてすれば面白く取扱へられる。

(2)、曲はなだらかに幾度でもくりかへして行かう。

稟

告

定 規 文 注

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歡迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵券代用の場合には總て一刻増）

一、御送金の場合には總て振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

定 價

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和四年六月十二日印刷納本
昭和四年六月十五日發行

幼兒の教育 第二十九卷第六號

編輯兼發行者 堀 七 藏
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 猪 木 卓 二
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

印刷所 京華社印刷所
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

不 許 複 製
禁 轉 載

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

廣 告

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

廣島高等師範學校教授 文學博士 久保良英先生新著

菊判全一冊紙數六百頁插圖貳百餘
定價金 六圓 送料金廿七錢

最新刊

實驗心理學精義

復雜なる
行動篇

讀め 軌近
異常に進歩
せる我心理
學界を最も
有意義的に
具體化する
一大金字塔

三版 簡單なる行動篇
久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である、日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究を怠らざるとして、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇に對し、記憶と學習等、各章の量的、質的、兩者の交互に對しては決して獨斷的私見を取らず、聯想、記憶と學習等、各章の量的、質的、兩者の交互に對しては決して獨斷的私見を取らず、法として、前篇同様、結果相背馳せるもの、に對しては決して獨斷的私見を取らず、一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又は私見を取らず、終始到懇切に詳述せるものなるを以て、書中最新學說の充實せる事は言を俟たず、且つ本著述の最も特異とする所の意を注ぎたる點で、學校教育家、軍隊、工場管理者等に實際的應用方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育家、軍隊、工場管理者等に實際的應用方面に多大の意を注ぎたる點で、著者の集團的當事者に取つても必ず學理的の指針として貴重なるものである、如く關係者の外文檢受驗者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

上野先生
文學博士
陽新著

兒童心理學精義

增訂 十版

菊紙挿定送
全數七五金料
一冊百八圓貳
洋頁拾七錢
綴餘錢七拾貳

上野先生心理學研究會を創立し野學を研究する正に十年その學に忠實たる世既に定評あり今學界の等しく渴望して止まざりし本書は成
れり本書は二十三章幾百節に分ち詳諸精銳を加へ多數の挿圖を以て學者研究の材料に資すべく努めたる斯界唯一の良參考書なり學校教
育者は必讀を乞ふ就中文檢受驗者は是非精讀研究すべき絶好の奨励資料である。

發行所 東京市牛込區 中野區 文庫館書店 振替東京三三三番 電話三三三番 七番

四六判全一冊洋綴
定價金貳圓送料金十八錢

愛兒良毅の教養

久保博士の令息良毅君は僅か九歳の年齒を享けて其餘りに短き生涯を終られた。……博士は本書自序の一節に「良毅は私の學位論文の中の言語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前、博士の兒童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新に以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度い」と敬虔なる學者的願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一と敬虔大權威「這個の純情を以て綴られた本書の一字一句は兒童研究としての學値は言ふに及ばず、尙且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信ず、御必讀を乞ふ」。

實驗心理學精義

三三
版版
◻◻
複簡
雜單
なるなる
行行
動動
篇篇

菊判全一冊紙數八百頁挿圖貳百	定價金六圓
菊判全一冊紙數八百頁挿圖貳百	定價金六圓
送料金廿七錢	送料金廿七錢

久保博士の實驗心理學は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究として、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動論を著しその編纂方法は質的及量的兩者交互に鋭敏に未決の問題より世界の心理學者が開拓せし所又はその結果相當のものに對しては決して斷斷的私見を取らず。終始一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が整理する所の研究發表を唯一に學的研究者の體的なるに止めて實證的の點に於ては言を俟たず。且つ本書述の最も特長と云ふべきは、當事者に取つて必ず學理的の指針として貴重なるものである。如上關係者の外文檢受驗者の必讀すべき資料と云ふ。

キ ャ ッ プ ー ダ ン キ

第 二 輯 第 二 編 目 次

- 表紙・インコと子供
 一、鳥のいろく
 二、涉禽類、遊禽類（動物園）
 三、鷹 狩
 四、鶇 飼
 五、玉子より雛へ
 六、巢の様々
 七、愛禽類附小鳥の飼方
 八、雲 雀
 九、目白さし
 十、鳩と淺草觀音堂附傳書鳩
 十一、家禽類（鶏）附人工孵卵器
 十二、走禽類（英京リーゼンドパークの
 駝鳥乗り）
 十三、孔 雀
 十四、鳥と歴史その一八幡太郎義家
 鳥と歴史その二高千穂艦上の鷹
 十五、鳥島と智利硝石
 十六、鳥の利用效用
 裏表紙・保護鳥と害鳥
 附 録・醜いあひる（アンデルセン）
 作 曲・鳩 白鳥省吾歌
 梁田 貞曲

賜 文 部 大 臣 鑑 覽

觀察 繪本 キンダーブック 第二輯 第二編

鳥 の 巻

が出来ました。鳥は動物の中で一番美麗で優雅で、そして子供の大層好くものです。鳥に關する理科的知識と子供の心境乃至その生活環境とを調和させた珍らしい繪本であります。

キンダーブックは「幼稚園讀本」として幼児の知識を向上させるに役立つものですから、今月も繪本をお求めになるなら、此の本を御すゝめ致します。

東京神田教育會館内

株式會社フレーベル館

定價 三十五錢

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
 （毎月一回）十五日發行

昭和四年六月十二日印刷納納行
 昭和四年六月十五日發行